株式会社ケーピーエス
Interesting & Amusing

kintone環境で帳票開発をするなら

Reports Connect for kintone

～ 操作マニュアル ～

Copyright © 2012 KPS CORPORATION. All Rights Reserved.

ReportsConnect for Kintone

kintone標準機能では帳票を自由にデザインすることが困難です。
KPSの「ReportsConnect for kintone」は自由で快適な帳票開発を約束いたします。
対応文字数が51,000文字に拡大！
すでに200ユーザー以上の方々お使い頂いております！

主な特徴

・kintone環境に**柔軟な帳票開発環境**を提供します。

・kintone標準のレポート機能では困難だった
さまざまな用途の帳票、伝票印刷が可能になります。

・１回の印刷要求あたり３ページまで、**無料で印刷サービス**が使用できます。

・**ユーザ外字**の使用が可能です。

・**IPAmj明朝フォント約51,000文字**分に対応しています。

・kintoneアプリケーションから**自由に帳票出力**

・帳票デザインツール jaspersoft Studioを使用して**GUIで帳票デザイン**

・ oAuth2.0認証で**セキュリティ対策も万全**です

公式サイト

https://www.reportsconnect.com/kt.html

Copyright © 2012 KPS CORPORATION. All Rights Reserved.

INDEX

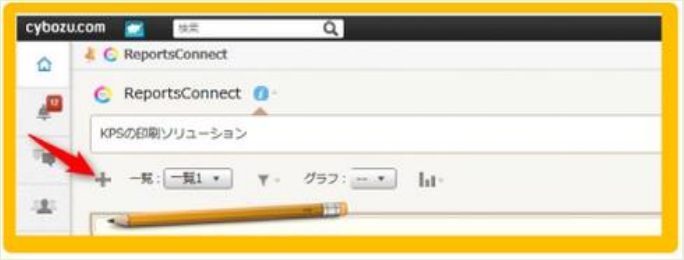
1．はじめに ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・03
1－1　帳票作成6ステップ (1～3) ・・・・・・・・・・・・・・・・・03
1－2　ご利用前にご確認ください ・・・・・・・・・・・・・・・・・05
1－3　インストール方法 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・06
2．操作説明　～帳票作成～ ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・08
2－1　帳票作成前の準備 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・08
2－2　帳票の新規作成 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・09
2－3　データソースの作成 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・13
2－4　CSVデータソースの読込み ・・・・・・・・・・・・・・・・16
2－5　帳票レイアウトの作成 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・21
2－6　jrxmlファイルの登録 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・27
2－7　印刷テスト ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・28
2－8　補足 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・29
3．操作説明　～アプリケーションへの実装～ ・・・・・・・・・・・30
3－1　JavaScriptを使った印刷ボタンの実装 ・・・・・・・・・・・・30
3－2　帳票PDFをレコードに添付する ・・・・・・・・・・・・・・・34
3－3　テーブルの印刷 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・36
4．操作説明　～ライセンス管理～ ・・・・・・・・・・・・・・・・37
4－1　ライセンス管理のインストール ・・・・・・・・・・・・・・・37
4－2　ライセンス管理画面の初期設定 ・・・・・・・・・・・・・・・38
4－3　ユーザーにライセンスを割り当てる ・・・・・・・・・・・・・41
5．こんなときは ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・44
5－1　帳票に日本語が出力できないときは ・・・・・・・・・・・・・44
5－2　フィールドにデータが表示されないときは ・・・・・・・・・・45
5－3　帳票テスト時にエラーが発生したら ・・・・・・・・・・・・・46
6．お問い合わせ ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・48

Copyright © 2012 KPS CORPORATION. All Rights Reserved.

1－1　帳票作成6ステップ (1～3)

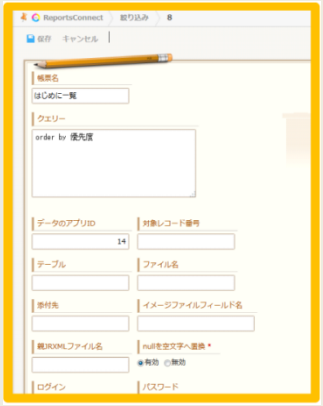
Step1
Reportsconnectアプリで新規レコードを作成

P.08 [帳票の新規作成]



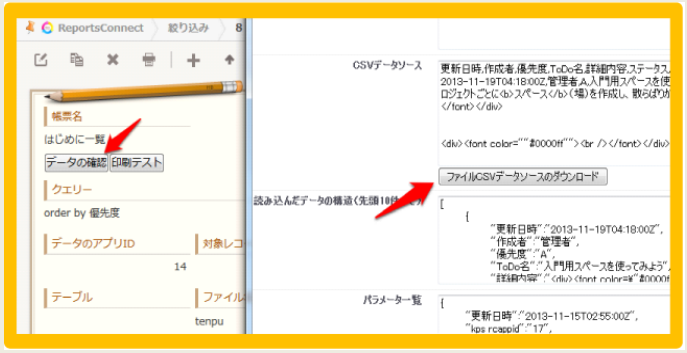
Step2
印刷対象となるアプリや抽出条件を設定

P.10 [帳票の新規作成(続き)]



Step3
データの確認ボタンを押してFile CSV Datasourceをダウンロード

P.12[データソースの生成]



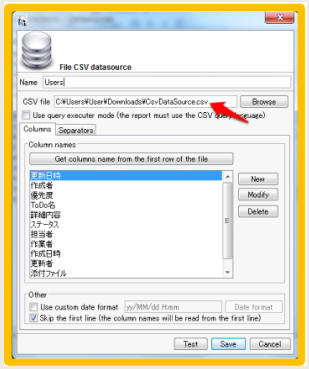
Copyright © 2012 KPS CORPORATION. All Rights Reserved.

1．はじめに

1－1　帳票作成6ステップ（4～6）

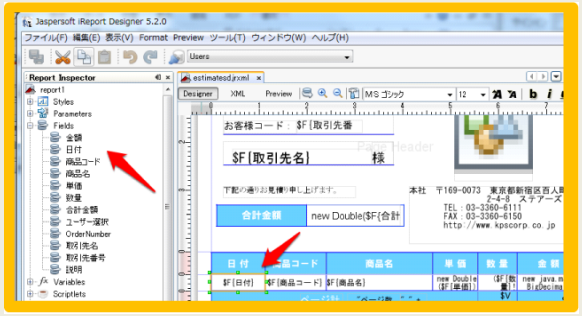
Step4
帳票デザインツールJasperSoftStudioで、File CSV Datasourceを読み込み
fieldを自動生成
※ JasperSoftStudioはこちらのページから5.2.0をダウンロードしてください。

➥ P.15 [CSVデータソースの読込み]



Step5
JasperSoftStudioでfieldを配置して帳票デザイン

➥ P.18 [帳票レイアウトの作成]



Step6
JasperSoftStudioで作成した帳票ファイル（jrxml）を
ReportsConnectアプリのレコードに添付

➥ P.22 [jrxmlの登録]

Copyright © 2012 KPS CORPORATION. All Rights Reserved.

1－2　ご利用前にご確認ください

Ⅰ．ReportsConnect for Kintoneライセンスについて

ReportsConnectのライセンスと料金は下記の通りです。

ライセンス	1印刷要求あたりの ページ数制限　読込データ量制限	月額使用料
free	3ページ（注1）　200kb	無料
basic	200ページ　1,000kb	¥5,000/1ユーザー

※以下追加ユーザーライセンス（使用には1組織にbasic1ユーザのみ別途必要です）

ライセンス	1印刷要求あたりの ページ数制限　読込データ量制限	月額使用料
lite	30ページ　500kb	¥1,500/5ユーザー
pro	200ページ　1,000kb	¥1,000/1ユーザー

※注1　：サーバーの個別構築等のご要望は、別途ご相談ください。

Ⅱ．JasperSoftStudioについて

JasperSoftStudioオープンソースの帳票デザインツールです。

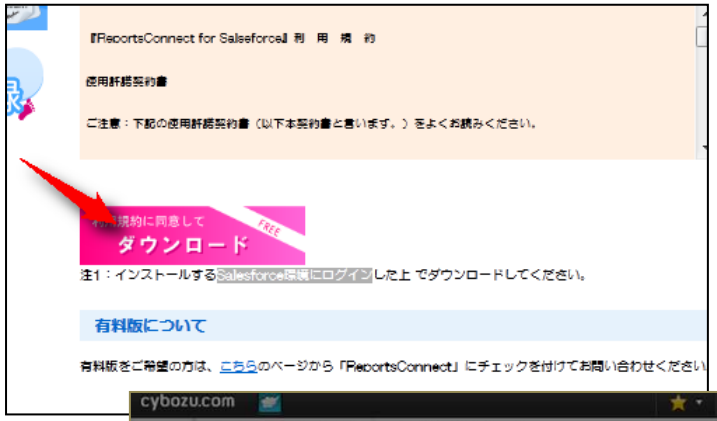
↓ JasperSoftStudioはこちらからダウンロードすることが出来ます。↓
https://community.jaspersoft.com/download-jaspersoft/community-edition/

Copyright © 2012 KPS CORPORATION. All Rights Reserved.

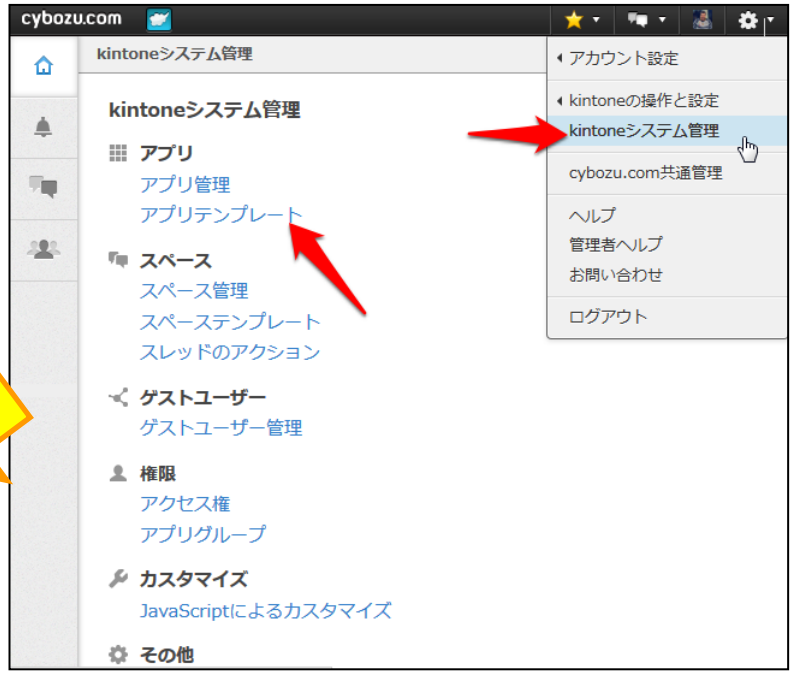
1－3　インストール方法

① ReportsConnect公式サイト内のダウンロードページの「利用規約に同意してダウンロード」を押します。
② kintoneシステム管理画面の「アプリテンプレート」を選択します。
③ 「読み込む」から、①でダウンロードしたファイルを読み込みます。

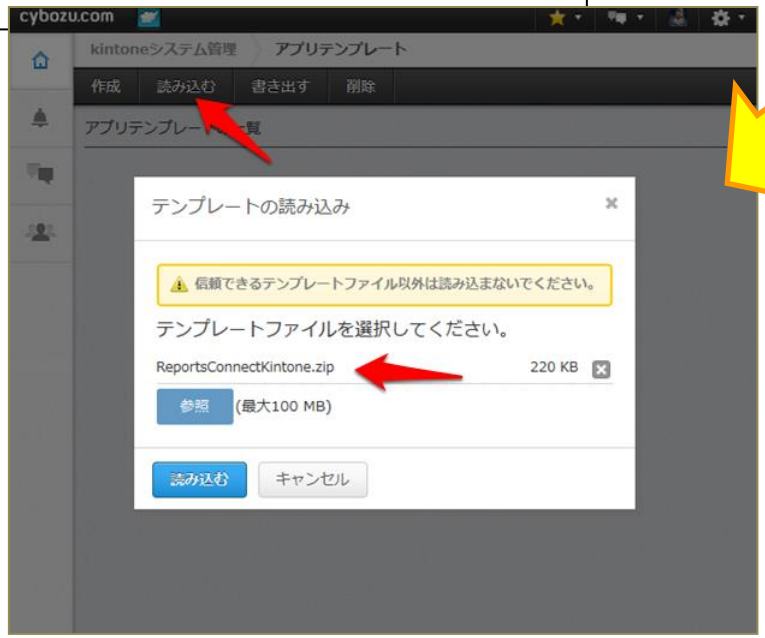
①



②



③



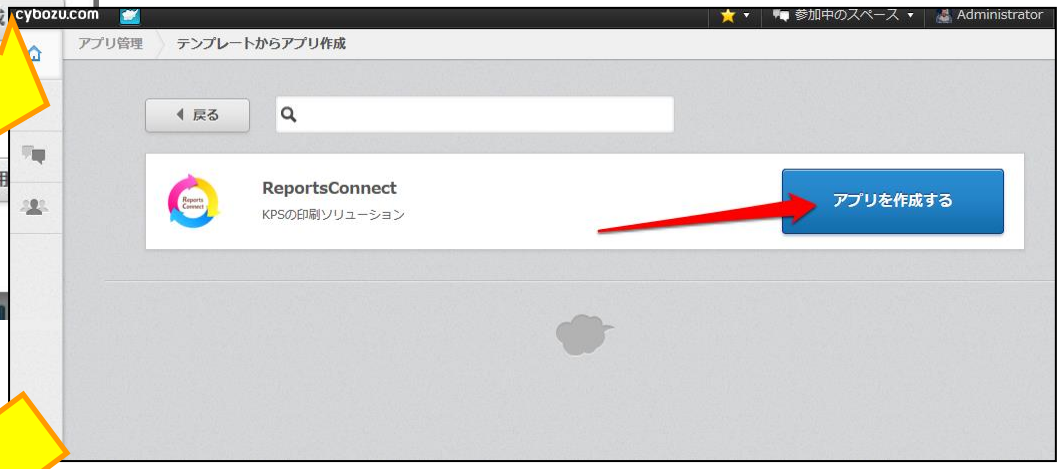
Copyright © 2012 KPS CORPORATION. All Rights Reserved.

1－3　インストール方法 (続き)

④　アプリを作成画面で「テンプレートから選ぶ」を選択します。
⑤　ReportsConnectのテンプレートが表示されるので「アプリを作成する」を選択します。
⑥　ReportsConnectアプリが追加されます。

④

⑤



⑥

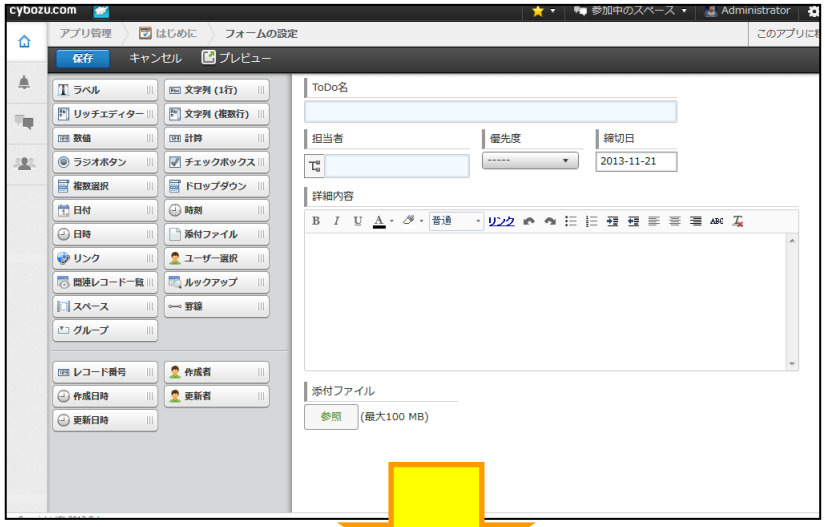
Copyright © 2012 KPS CORPORATION. All Rights Reserved.

2．操作説明　～帳票作成～

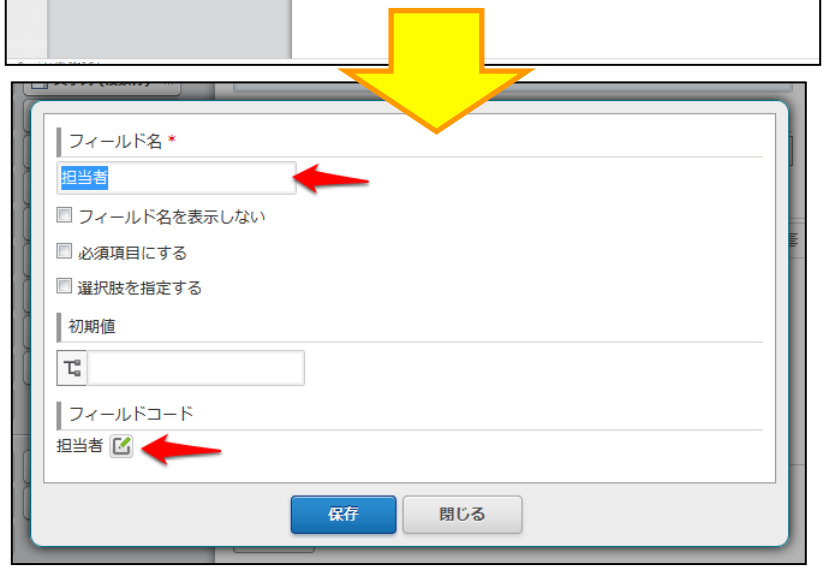
2－1　帳票作成前の準備

帳票印刷機能を作成する前に事前準備を行うことで、帳票作成がより円滑に行えます。
①　印刷機能を実装したいアプリのフォームの設定画面を開きます。
②　フィールド名とフィールドコードを統一します。

①



②

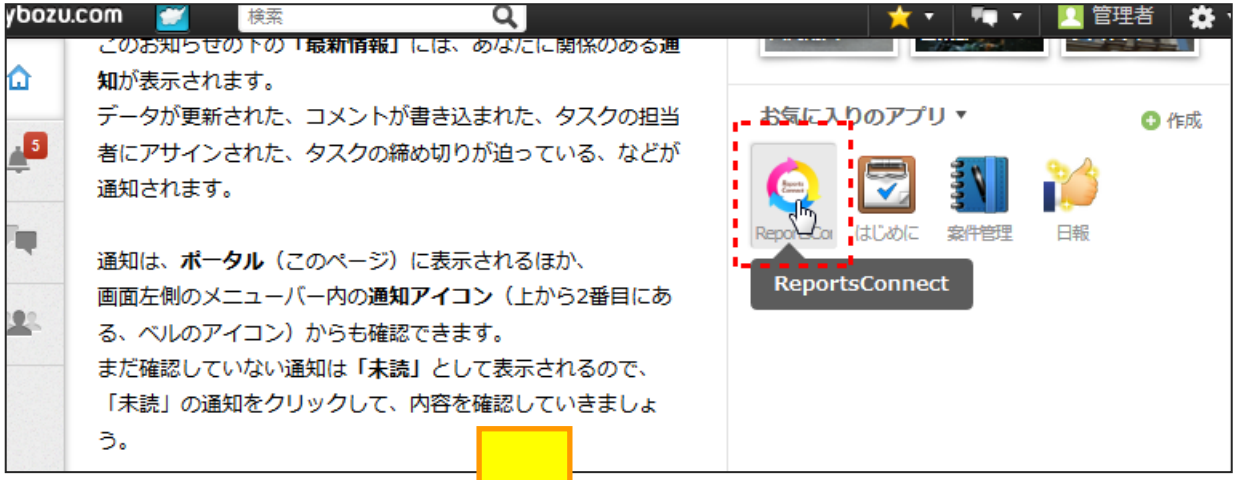


Copyright © 2012 KPS CORPORATION. All Rights Reserved.

2－2　帳票の新規作成

帳票印刷機能を新規に作成する手順です。
①　「ReportsConnect」アプリを開きます。
②　「＋」ボタンを押して、レコードを1件作成します。

①

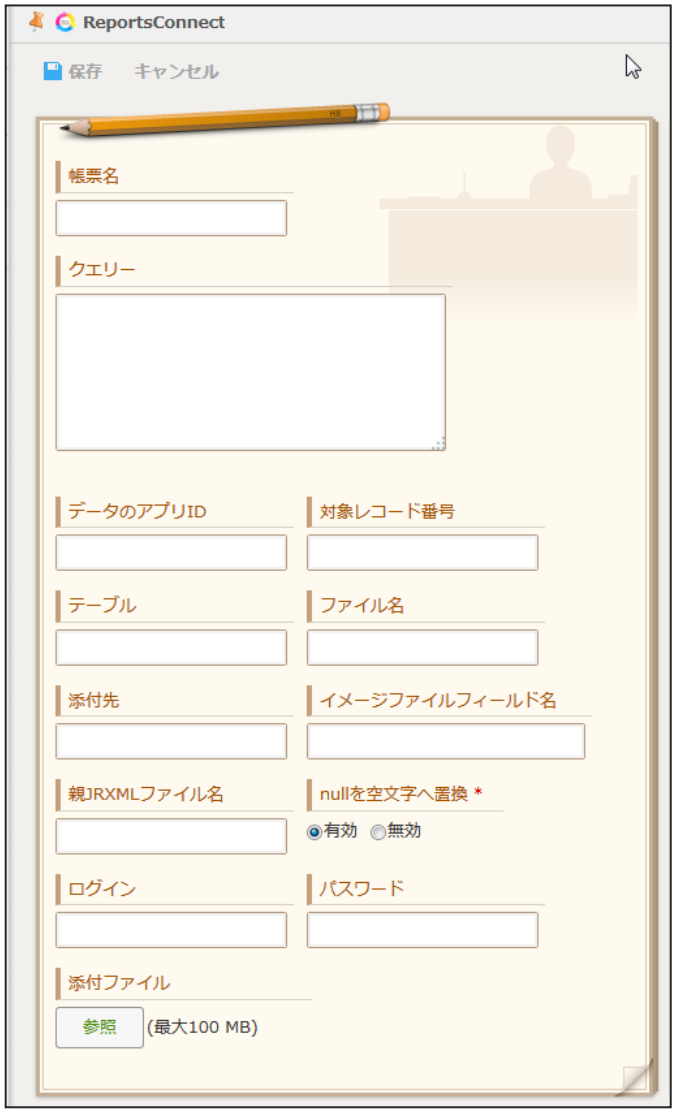


②

Copyright © 2012 KPS CORPORATION. All Rights Reserved.

2－2　帳票の新規作成 (続き)

～「新規帳票」画面説明～



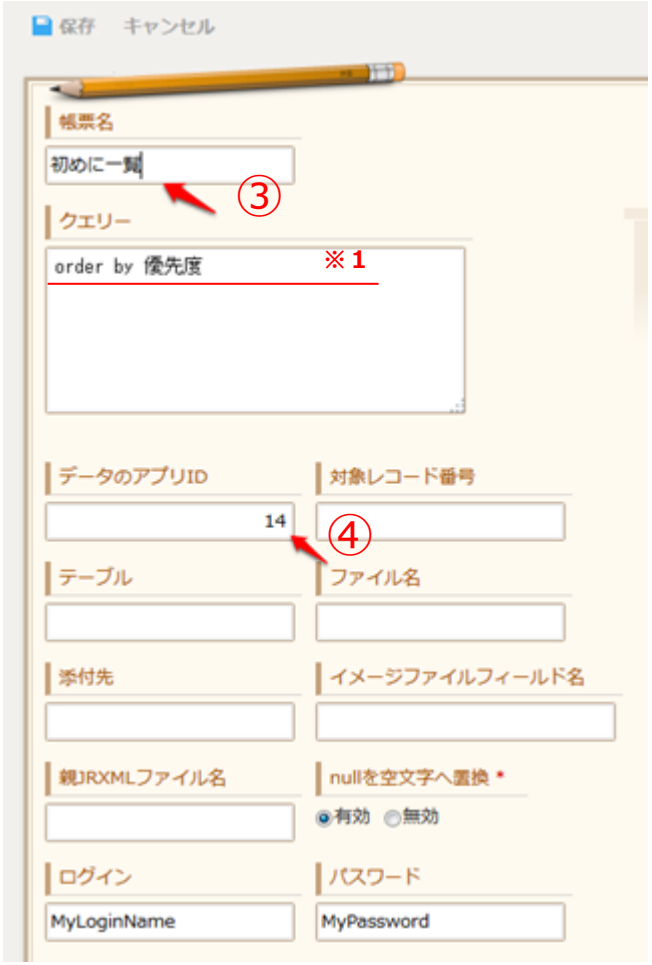
- **帳票名**
  帳票の名前です。
- **クエリー**
  データの絞り込み条件や順序を指定できます。
- **データのアプリID**
  印刷対象データをもつアプリのIDを指定します。
- **対象レコード番号**
  印刷を行いたいレコードの番号を直接指定出来ます。（※クエリーとの併用不可）
- **テーブル**
  テーブルフィールドを出力する場合に、フィールド名を指定します。
- **ファイル名**
  ダウンロードされるPDFファイルの名称を事前に設定出来ます。
- **添付先**
  PDFファイルの添付先を指定出来ます。
- **イメージファイルフィールド名**
  画像を添付しているフィールド名を指定する事で、レコード別に画像が挿入できます。
- **親JRXMLファイル名**
  SubReportを使用する場合、親となるJRXMLファイル名を指定します。
- **Nullを空文字に置換**
  データがNullの場合、空文字として返します。
- **ログイン**
  データを参照が可能なユーザーのログイン名を指定します。
- **パスワード**
  データを参照が可能なユーザーのパスワードを指定します。
- **添付ファイル**
  JRXMLファイル、画像ファイル等を添付します。

Copyright © 2012 KPS CORPORATION. All Rights Reserved.

2．操作説明　～帳票作成～

2－2　帳票の新規作成 (続き)

③　帳票名欄に帳票の名前を入力します。
④　データのアプリID欄に印刷の対象となるアプリのIDを指定します。アプリIDは対象となるアプリを開きURL/k/の後にある数字を見ることで確認できます。



注 意

※1　クエリーを使用することで抽出条件等を指定することが出来ます。クエリーに使用可能なオプション、演算子等は「cybozu.com developers」のkintone API レコード取得のページを参照して下さい。
https://cybozu.dev/ja/kintone/docs/overview/query/

※2　帳票上でグルーピングする場合は、グルーピングするフィールドでデータがソートされている必要があります。
ソートに複数のフィールドを指定する事は出来ません。

※3　ログイン欄には印刷対象のデータにアクセス可能なユーザーのログインIDを指定する必要があります。

Copyright © 2012 KPS CORPORATION. All Rights Reserved.

2－2　帳票の新規作成 (続き)

⑤　ログイン欄、パスワード欄にそれぞれログイン名とパスワードを入力します。 **※1**
⑥　[保存]ボタンを押し、帳票レコードを保存します。

注 意

※1　APIトークンでの認証を行う場合は、ログイン欄に「Reportsconnectアプリのトークン」,「データのアプリのトークン」の順にカンマ区切りで指定し、パスワード欄はブランクにします。（APIトークンのアクセス権は「レコード閲覧」が必要。PDFをデータのアプリに添付する場合はデータのアプリのトークンに「レコード編集」が必要）

Copyright © 2012 KPS CORPORATION. All Rights Reserved.

2－3　データソースの作成

帳票レイアウト作成に必要な、CSVデータソースを生成する手順です。
①　作成した帳票レコードを開き、「データの確認」ボタンを押します。

①

注 意

※　お使いのブラウザのポップアップブロック設定が有効になっている場合、正しく画面が表示されない場合があります。ポップアップブロック機能の解除を行ってください。

Copyright © 2012 KPS CORPORATION. All Rights Reserved.

2－3　データソースの作成 (続き)

② 印刷処理中の画面が一定時間表示されます。
③ データの確認画面が表示されます。
「CSVファイルデータソースのダウンロード」CSVファイルをダウンロードします。

②

③

Copyright © 2012 KPS CORPORATION. All Rights Reserved.

2－3　データソースの作成（続き）

～「データの確認」画面説明～

- **ヒント：**
  帳票作成を円滑に進めるためのヒントが表示されます。
- **クエリー：**
  データを取得するためのクエリーが表示されます。
- **CSVデータソース：**
  CSVデータソースの内容が表示されます。
- **ファイルCSVデータソースのダウンロード：**
  CSV形式のデータソースをダウンロードできます
- **読み込んだデータの構造：**
  データ構造を１０件まで表示されます。
- **パラメーター覧：**
  送られたリクエストパラメーターが表示されます。
- **「閉じる」ボタン：**
  データの確認画面を閉じます。

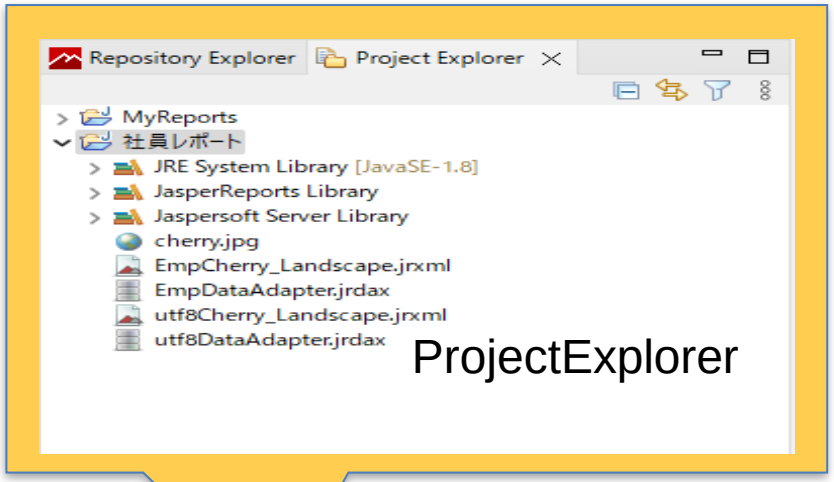
Copyright © 2012 KPS CORPORATION. All Rights Reserved.

2－4　CSVデータソースの読込み

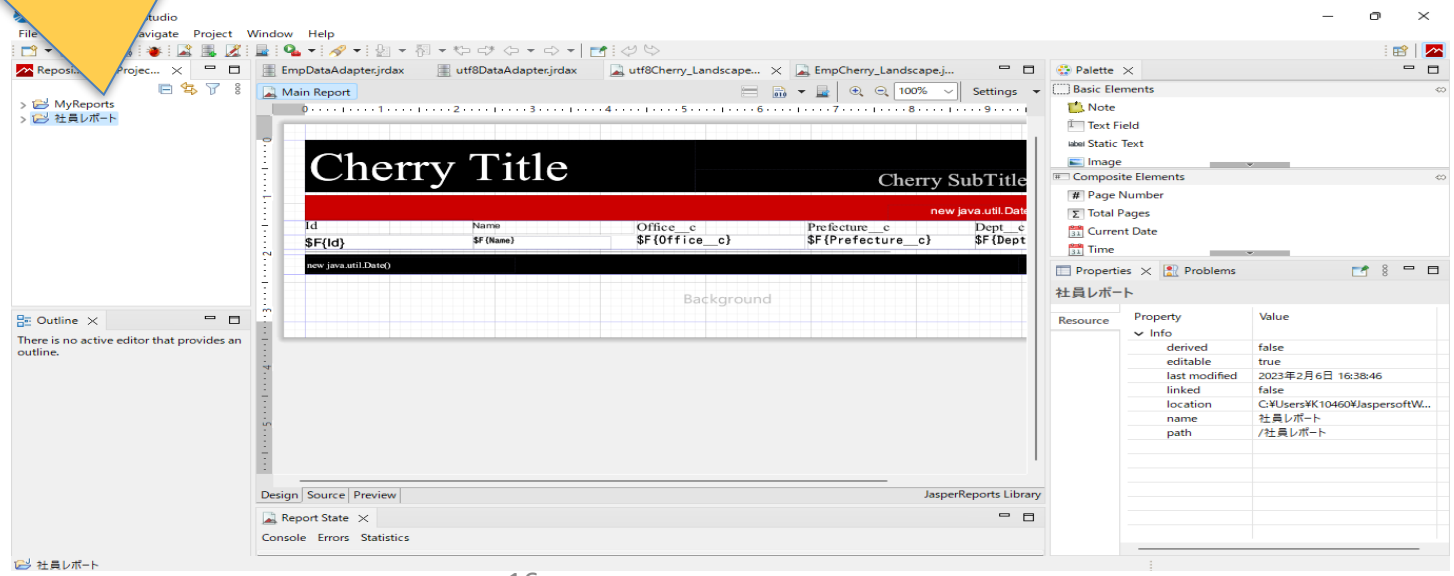
操作説明２－２で生成したCSVファイルをJasperSoftStudioに読込ませる手順です。

①　JasperSoftStudioを起動します。

①



メイン画面

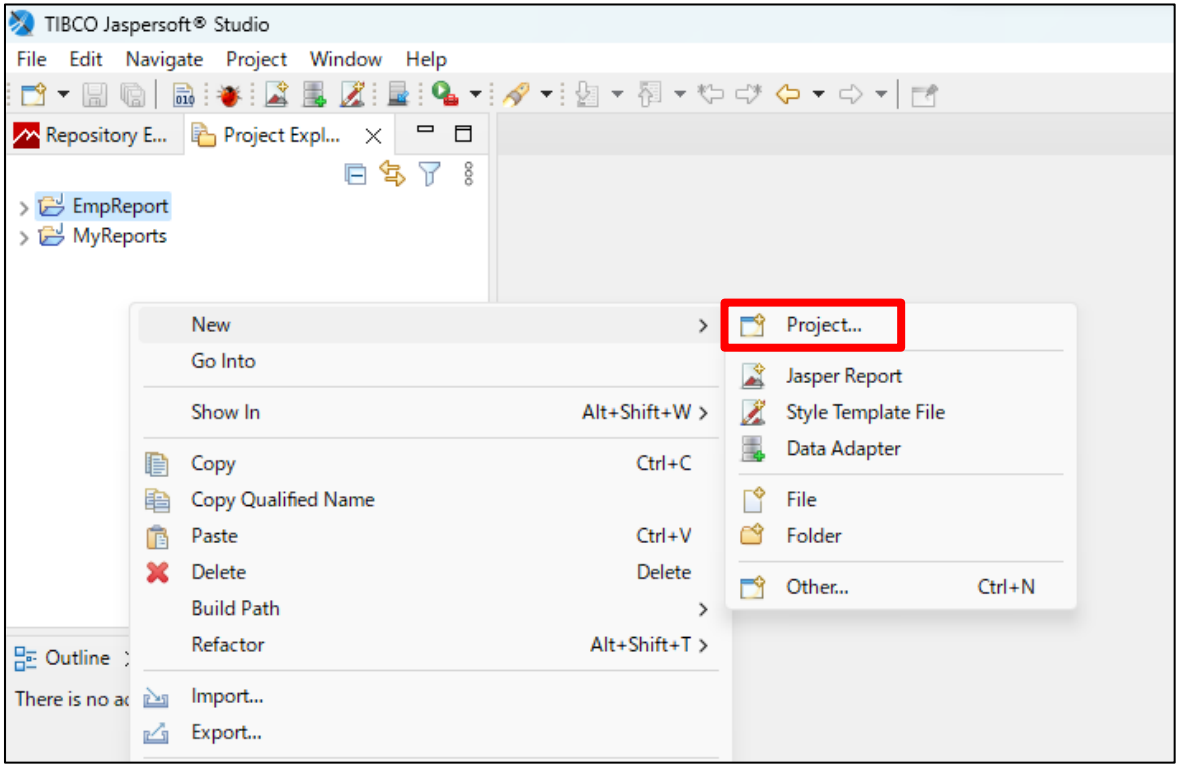


Copyright © 2012 KPS CORPORATION. All Rights Reserved.

2－4　CSVデータソースの読込み (続き)

② ProjectExplorerの余白部分を右クリックし、「New」→「Project」を選択します

②

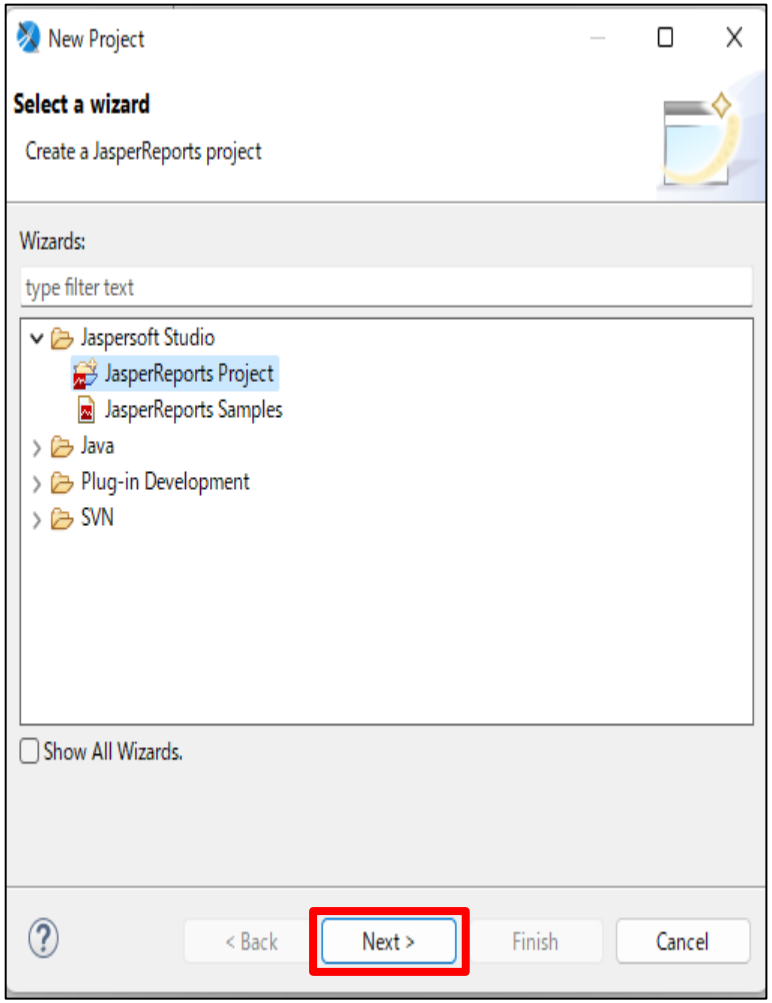


Copyright © 2012 KPS CORPORATION. All Rights Reserved.

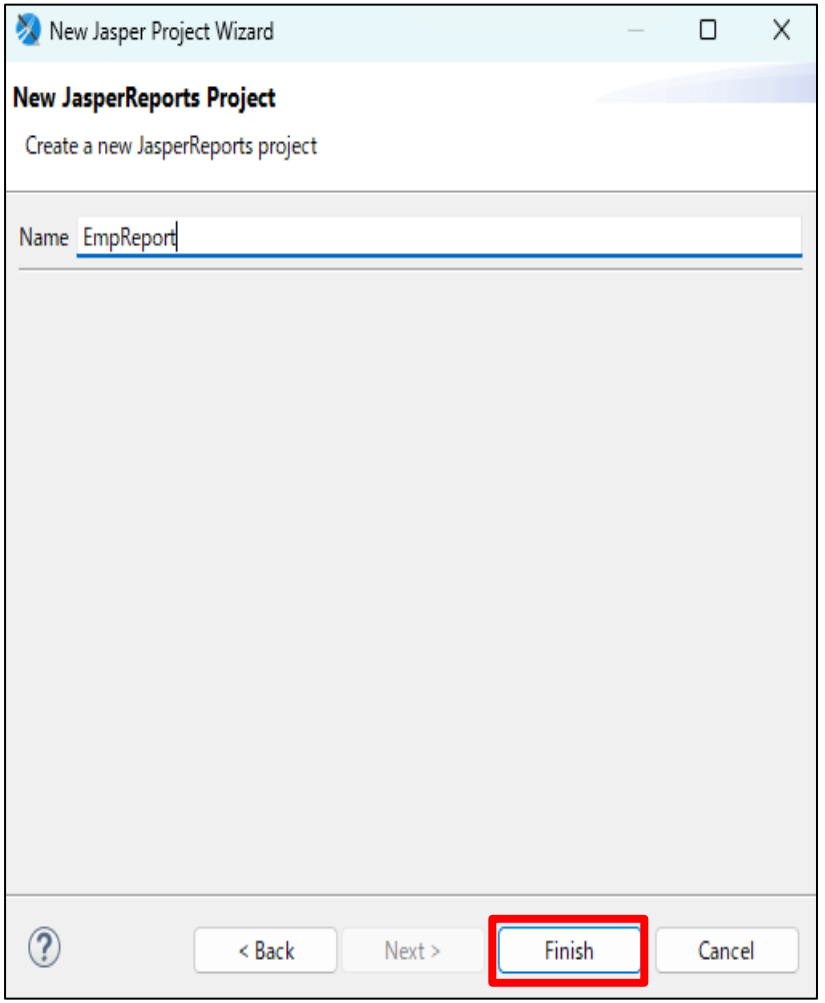
2－4　CSVデータソースの読込み (続き)

③　「JasperReports Project」を選択し、「Next」ボタンをクリックします。
④　Nameに任意の名前を付けて、「Finish」ボタンをクリックします。

③



④

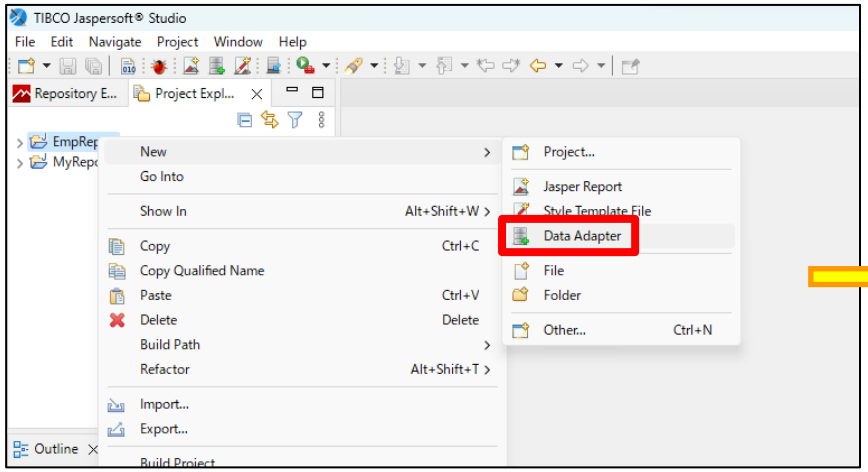


Copyright © 2012 KPS CORPORATION. All Rights Reserved.

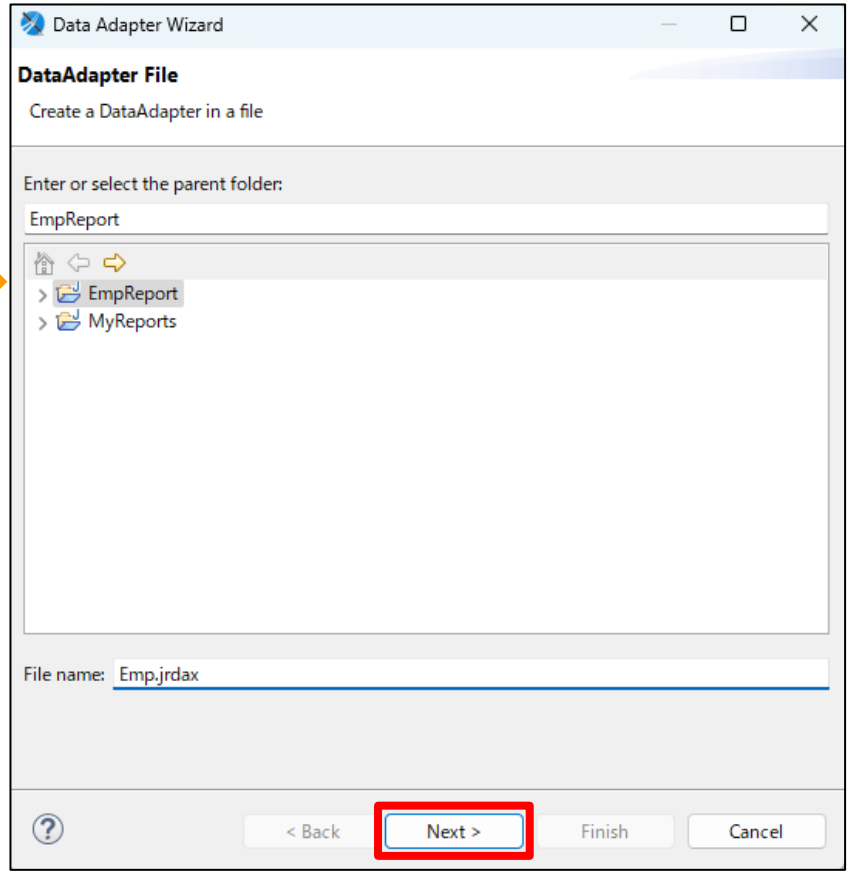
2－4　CSVデータソースの読込み (続き)

⑤　Project名を右クリックし、「New」→「 Data Adopter」を選択します。
⑥　任意の名前を付けて、「Next」ボタンを押します。

⑤



⑥

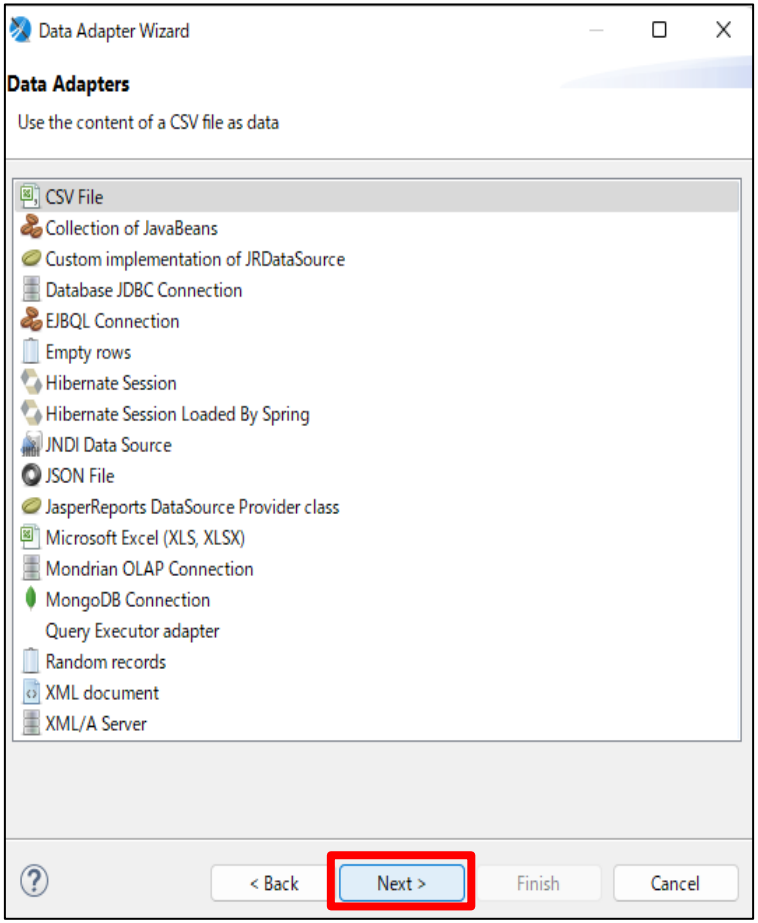


Copyright © 2012 KPS CORPORATION. All Rights Reserved.

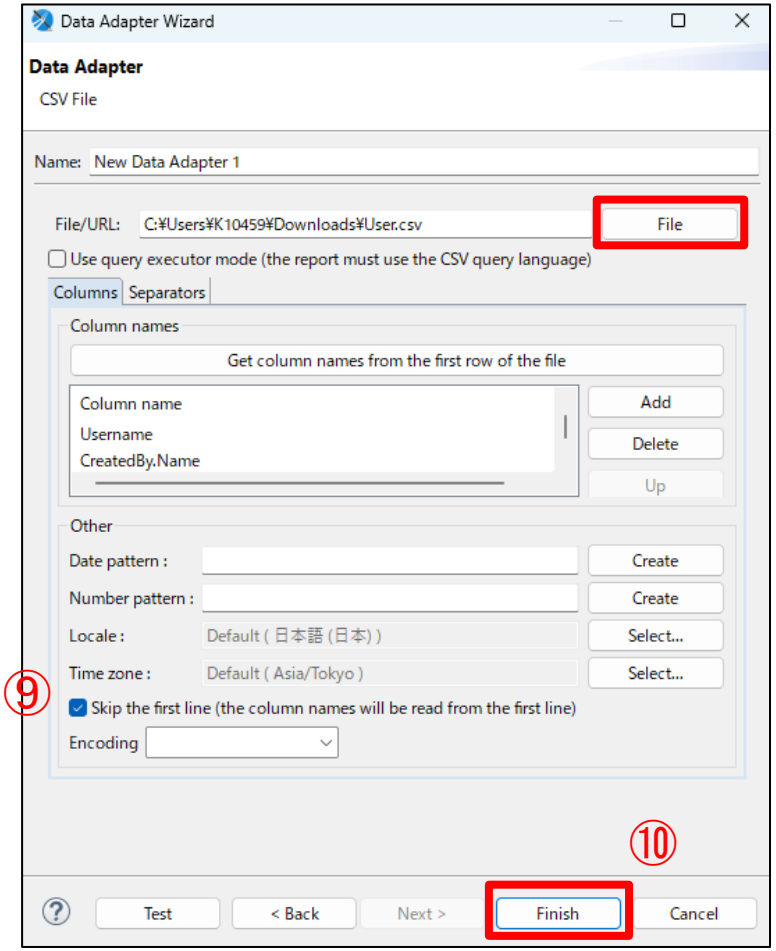
2－4　CSVデータソースの読込み (続き)

⑦　1番上の「CSV File」を選択し、「Next」ボタンをクリックします。
⑧　File/URLの部分で右の「File」ボタンをクリックし、用意したCSVファイルを選択します。
⑨　「Skip the First line」 にチェックを付けます。
⑩　「Finish」ボタンを押します。

⑦



⑧

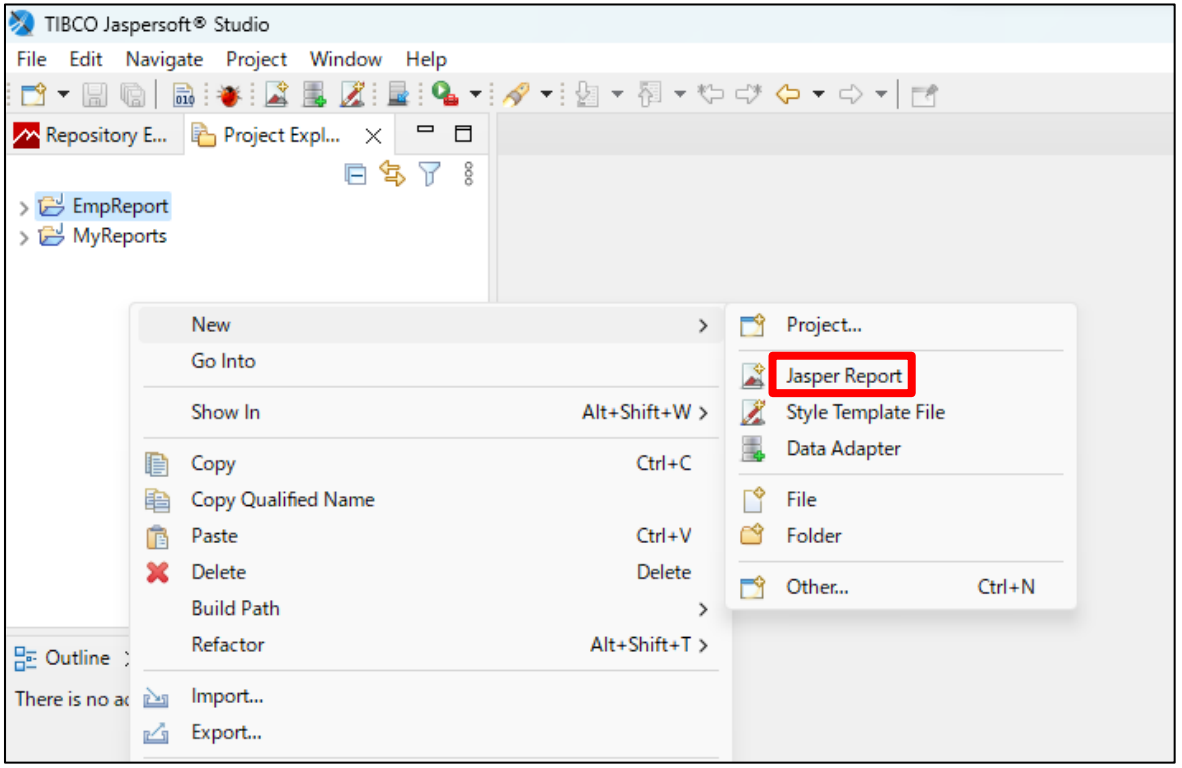


Copyright © 2012 KPS CORPORATION. All Rights Reserved.

2－5　帳票レイアウトの作成

Jaspersoft Studioを用いて帳票レイアウトを新規に作成する手順です。
① Project名を右クリックし、「New」→「JasperReport」を選択します。

①

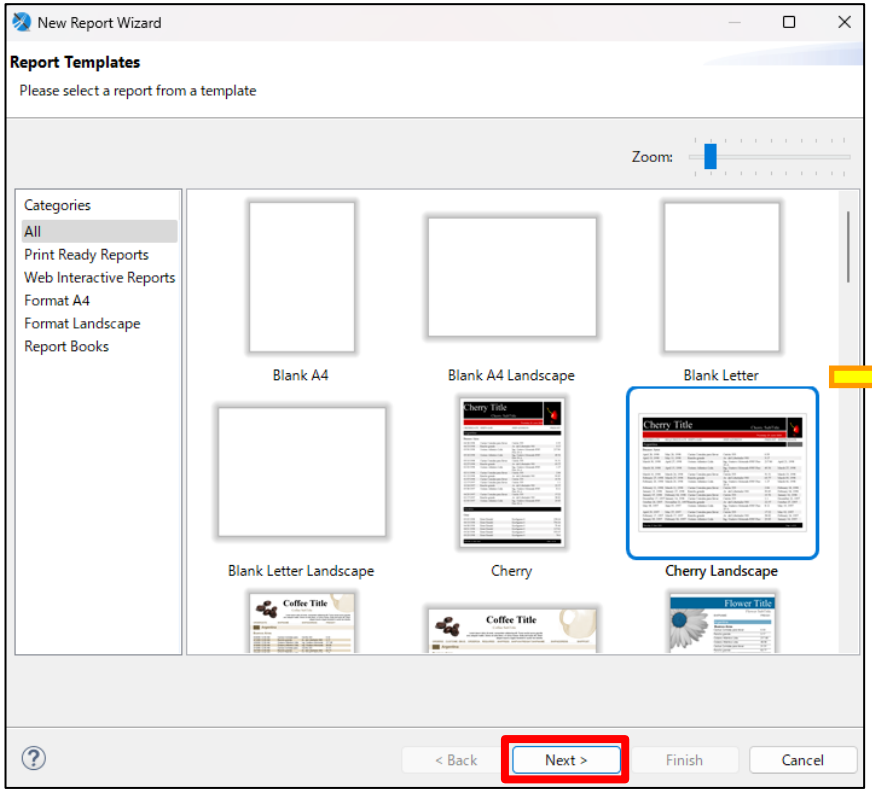


Copyright © 2012 KPS CORPORATION. All Rights Reserved.

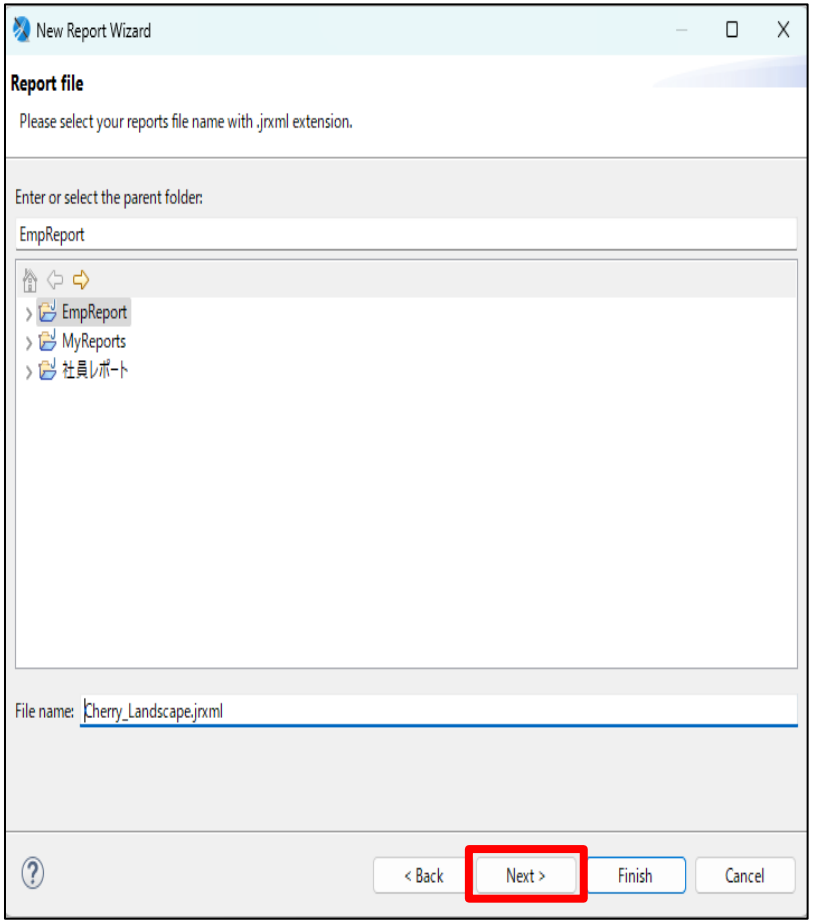
2－5　帳票レイアウトの作成

②任意のテンプレートを選択して「Next」ボタンを押します。
③任意の名前を付けて「Next」ボタンを押します。

②



③

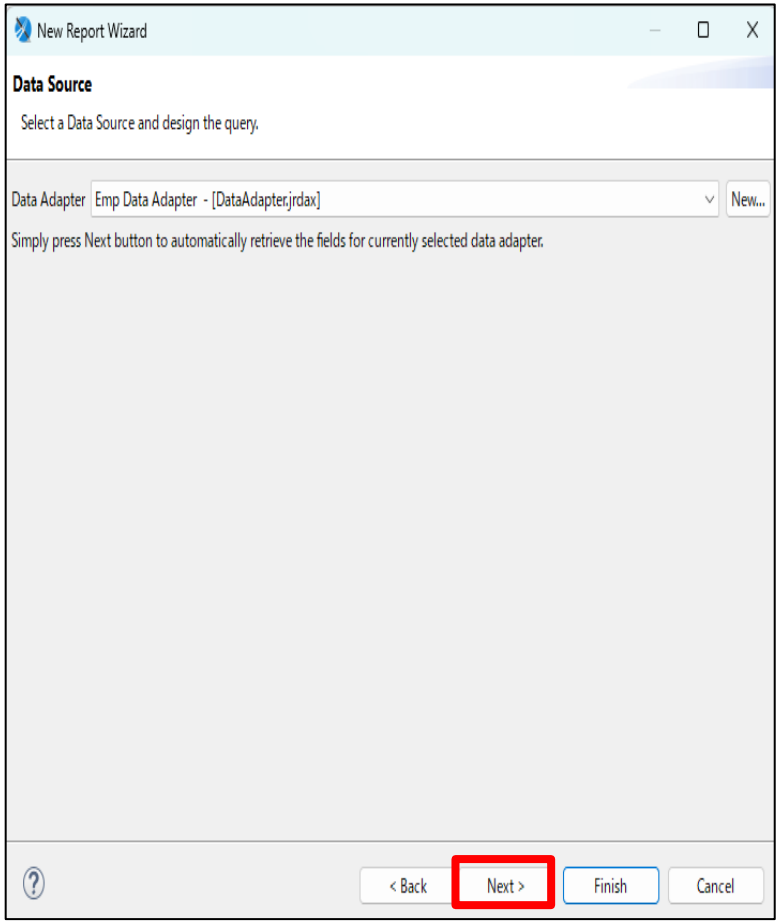


Copyright © 2012 KPS CORPORATION. All Rights Reserved.

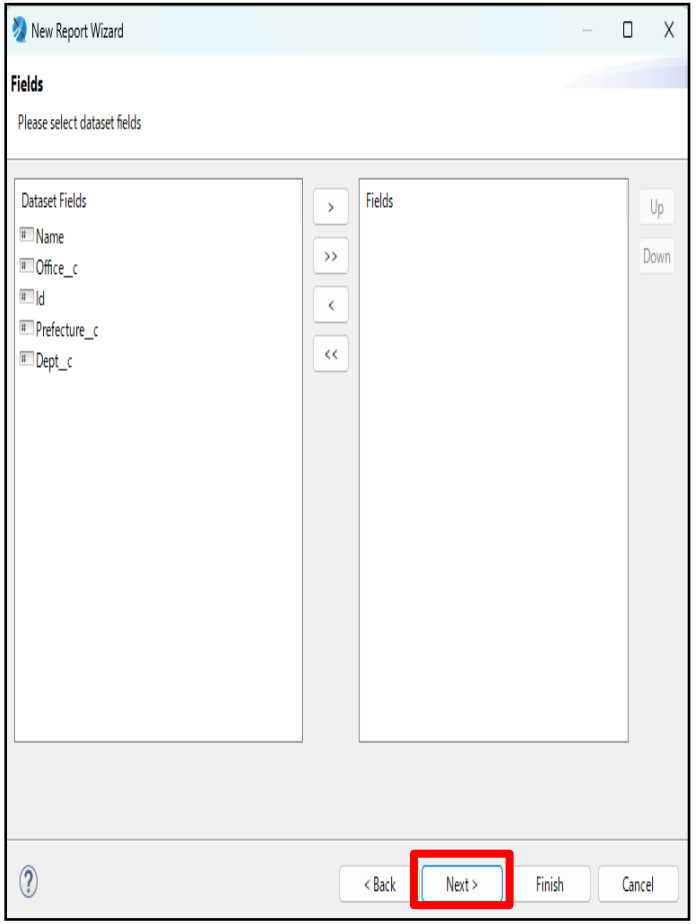
2－5　帳票レイアウトの作成 (続き)

④　帳票に使用するDatasouceのDataAdapterを選択し、「Next」ボタンを押します。
⑤　帳票に使用するカラムをFieldsリストの右側に移動し、「Next」ボタンを押します。

④



⑤

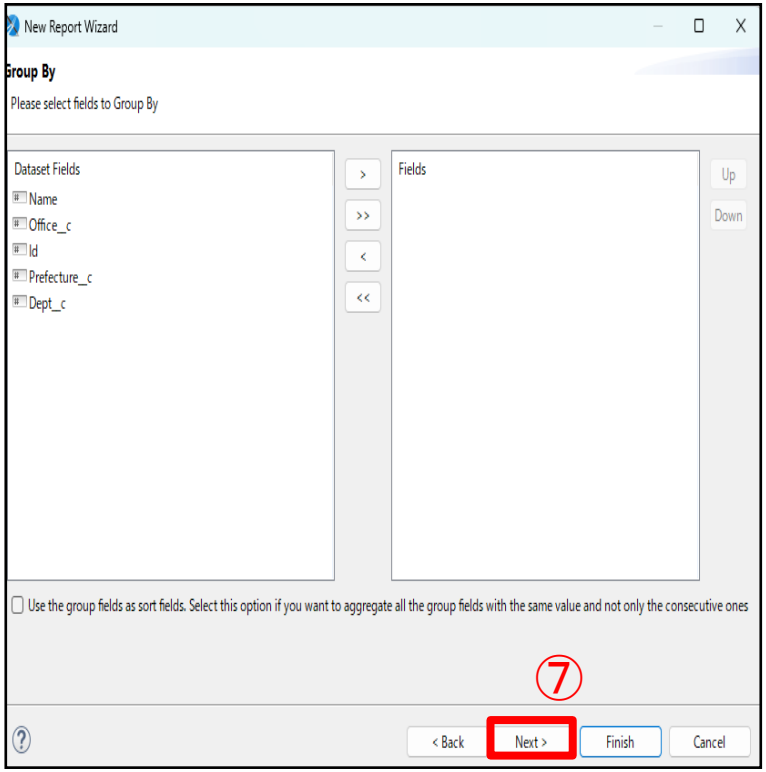


Copyright © 2012 KPS CORPORATION. All Rights Reserved.

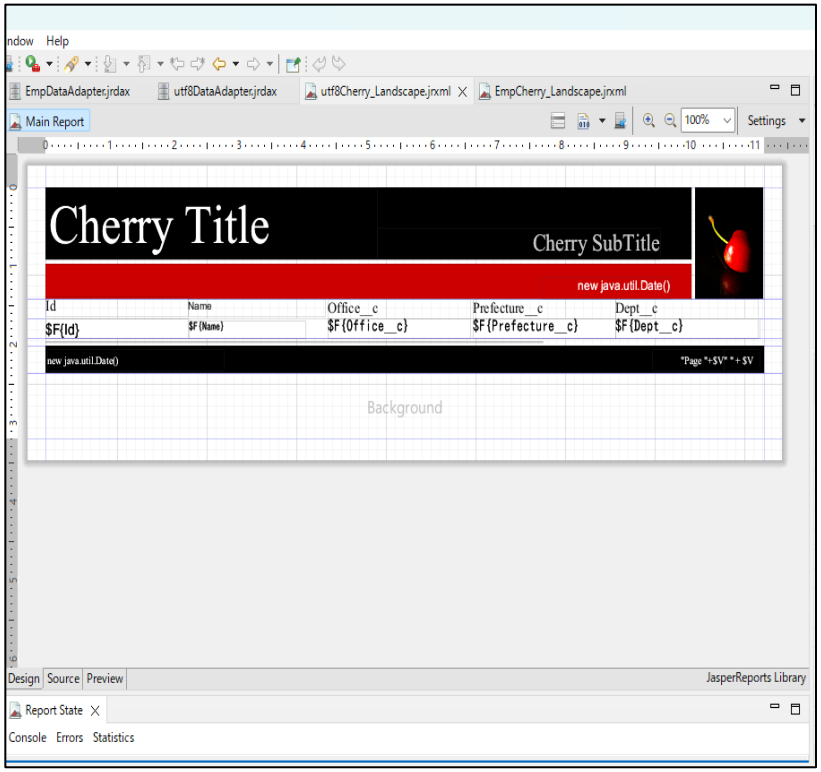
2－5　帳票レイアウトの作成 (続き)

⑥　グルーピングを行う場合、対象となるカラムをリストから指定し「Next」ボタンを押します。
⑦　「Finish」ボタンを押します。
⑧　帳票レイアウトファイル(.jrxml)が作成され、レイアウトデザイナーが表示されます。

⑥



⑧

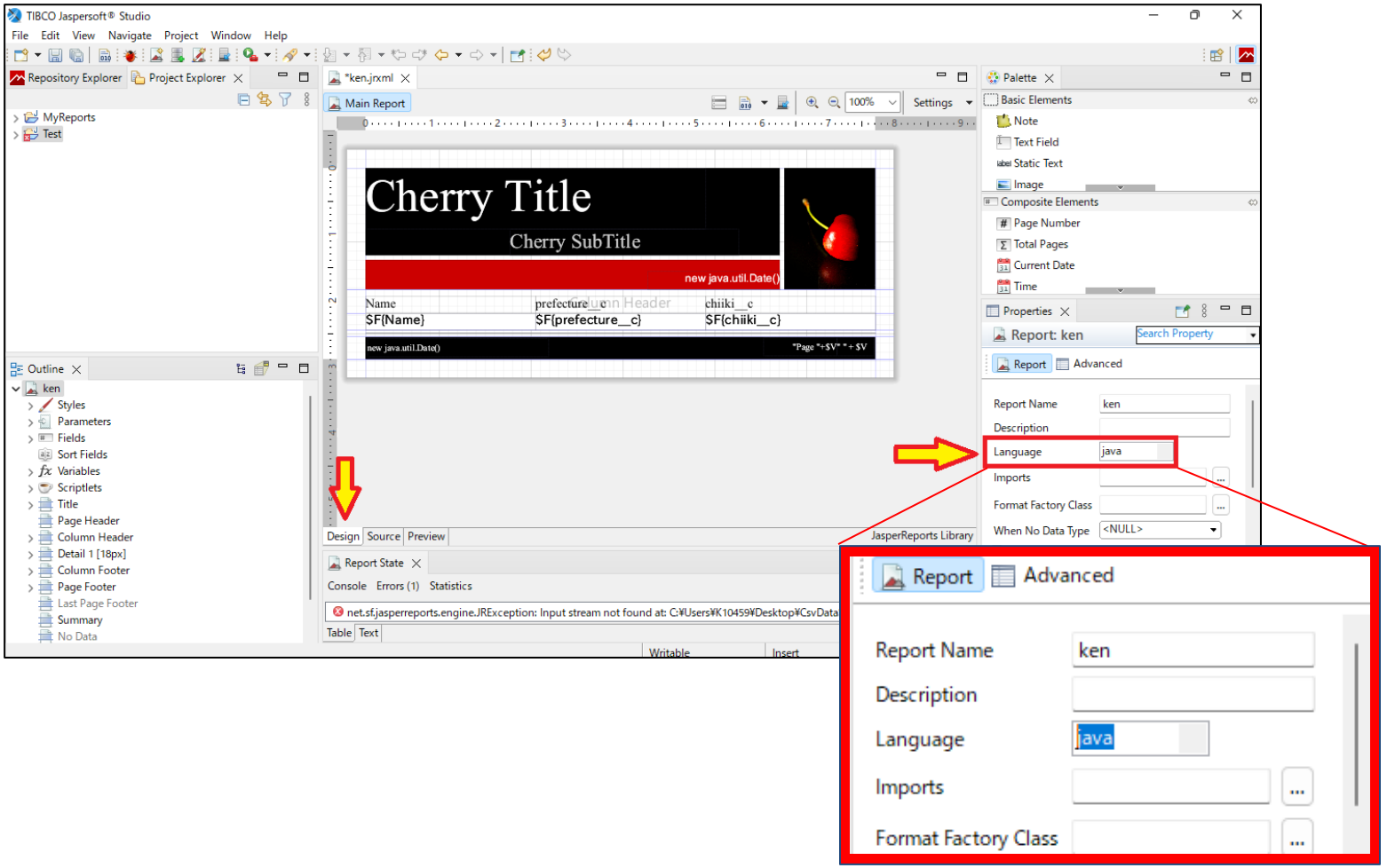


Copyright © 2012 KPS CORPORATION. All Rights Reserved.

2－5　帳票レイアウトの作成 (続き)

⑨　中央下の「Design」タブを開き、作成した帳票レイアウトのプロパティの「Language」を[Java]に設定します。

⑨

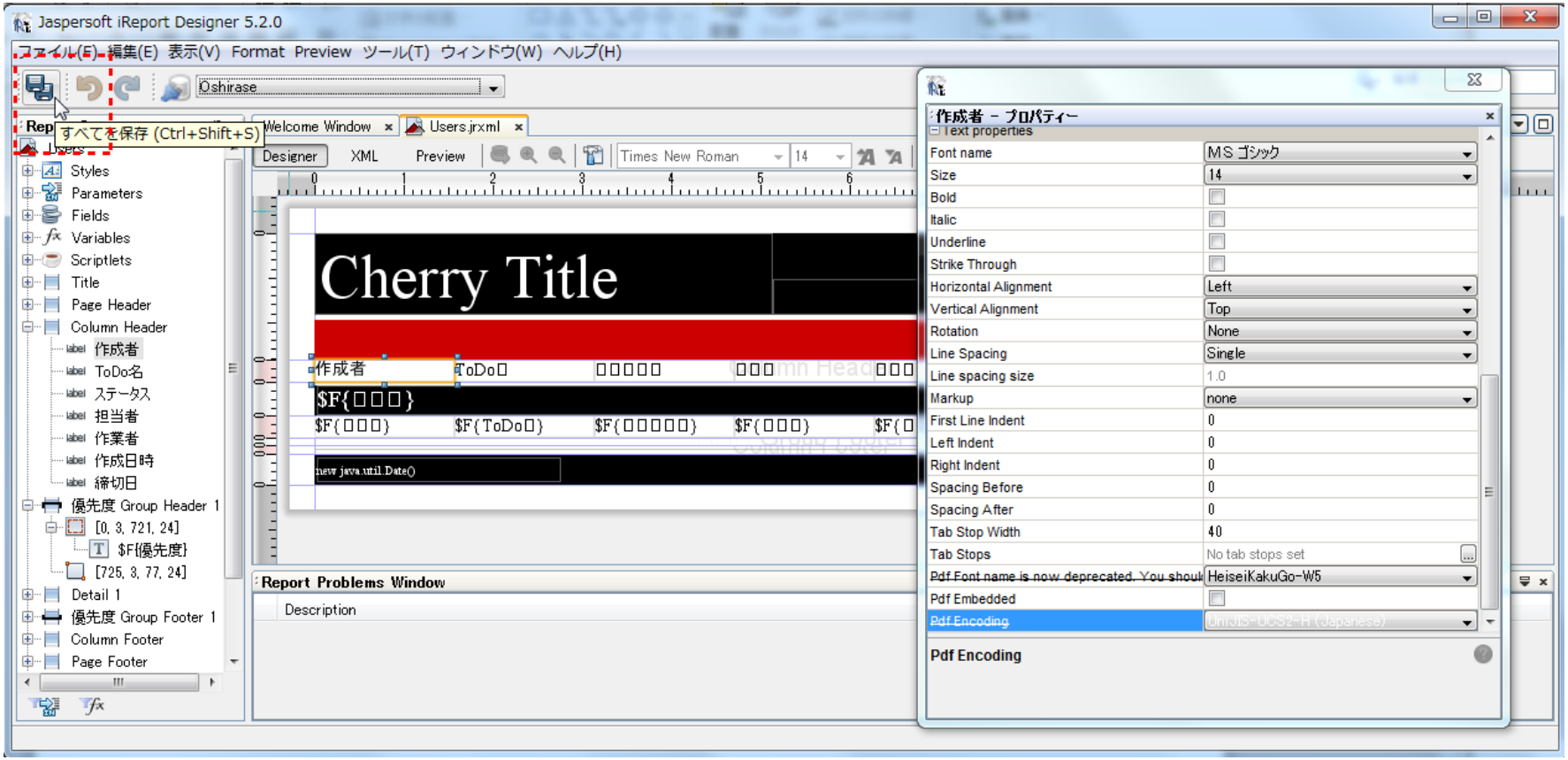


Copyright © 2012 KPS CORPORATION. All Rights Reserved.

2－5　帳票レイアウトの作成 (続き)

⑩　デザイン完了後、[すべてを保存]ボタンを押します。

⑩



Copyright © 2012 KPS CORPORATION. All Rights Reserved.

2－6　jrxmlファイルの登録

帳票レコードが使用するレイアウトを指定するために、 jrxmlファイルを添付する必要があります。
① 作成した帳票レコードの編集画面を開き、添付ファイルフィールドの「参照」ボタンを押します。
② JasperSoftStudioで作成したjrxmlファイルを選択し、「保存」ボタンを押します。

注 意

※　帳票レイアウト上で画像等を使用している場合、それに応じてファイルを添付する必要があります。

Copyright © 2012 KPS CORPORATION. All Rights Reserved.

2－7　印刷テスト

実際にpdfを出力した確認が可能です。
① 作成した帳票レコードを開き、「印刷テスト」ボタンを押します。
② テストが成功した場合、pdfファイルのダウンロードが開始されます。

①

②

注 意

※ 印刷テストに失敗しエラーが発生した場合、「データの確認」ボタンを押すことで、
問題解決へのヒントが得られます。
→参照:P46（帳票テスト時にエラーが発生したら）

Copyright © 2012 KPS CORPORATION. All Rights Reserved.

2－8　補足

①　ユーザー外字機能について

ReportsConnectではWindows上で作成したユーザー外字を使用することが出来ます。手順は以下の通りです。

1．外字フォントファイル(c:¥Windows¥fonts¥EUDC.TTE)を任意のフォルダにコピーし、EUDC.ttfという名称に変更します。
※コピーにはコマンドプロンプトを使用します。
例) cp c:¥Windows¥Fonts¥EUDC.TTE c:¥work¥EUDC.ttf

2．コピーしたEUDC.ttfファイルを帳票レコードに添付します。

②　IPAmj明朝フォントについて

ReportsConnectではIPAmj明朝フォントの一部（約5万1千文字分）を使用する事が出来ます。手順は以下の通りです。

1．JasperSoftStudioでjrxmlファイルを開きます。
2．フォントのプロパティの項目を下記の通りに設定します。
Font name:　IPAmj明朝
PDF Font name:　Times-Roman
PDF Embeted:　true
PDF Encording:　Identity-H

※JasperSoftStudio上で表示するためには、事前にお使いのPCにIPAmj明朝フォントをインストールする必要があります。
IPAmj明朝フォントダウンロードページ
https://moji.or.jp/mojikiban/font/

Copyright © 2012 KPS CORPORATION. All Rights Reserved.

3．操作説明　～アプリケーションへの実装～

3－1　JavaScriptを使った印刷ボタンの実装

作成した帳票の印刷要求はJavaScriptを使用します。
ReportsConnectのライブラリ（https://kps-reportsconnectk.herokuapp.com/js/kpsrck.js）を用いることで、
様々な印刷設定が可能となります。

<ReportsConnect用JavaScriptライブラリ>　主な関数とプロパティ

名称		説明
Kpsrc.setupReport(ReportsConnectアプリのID, 帳票レコード名)		印刷に使用する帳票を指定
kpsrc.gorcprint()		印刷の実行
kpsrc.rcparms.	kps_ql	データを読む際のクエリー。
	kps_dataappid	対象アプリID
	kps_recid	読み込むレコードID。recidとqlはどちらか一方を指定
	kps_table	使用するテーブルのフィールドコード。テーブルデータを読む際使用
	kps_filename	出力されるPDFファイルの名前。デフォルトは「print.pdf」
	kps_parentid	PDFファイルをレコードに添付する場合の添付先
	kps_upattach	帳票で使用する画像をデータから指定する際のフィールドコード
	kps_null2blank	値がnullの場合、"null"という文字列の代わりに空文字を設定するかどうか
	kps_login	データにアクセスするユーザーのログイン名
	kps_pwd	データにアクセスするユーザーのパスワード
	kps_newwindow	印刷時に別Windowを開くかどうか。pdfファイルをダウンロードせずレコードに添付する際に使用。True/Falseで指定。

Copyright © 2012 KPS CORPORATION. All Rights Reserved.

３－１　JavaScriptを使った印刷ボタンの実装（続き）

JavaScriptを使用したコードサンプルです
① ReportsConnectのライブラリーをload関数によりロードする。
② ロード完了後kpsrc.setupReport関数を呼び出し、使用する帳票を設定する。（引数はReportsConnectのアプリIDと帳票レコード名）
③ 一覧表示時に印刷ボタンが無ければ、一覧の上の部分のスペースの要素にボタンを追加する。
④ 印刷ボタン押下時の処理を追加する。クエリーを変更した後、kpsrc.gorcprint関数により印刷要求を行う。

コードサンプル

```
/*はじめに一覧印刷*/
(function() {
① //ReportsConnectのライブラリーをロードする
  load("https://kps-reportsconnectk.herokuapp.com/js/kpsrck.js");
  //ロード完了後kpsrc.setupReportを呼び出す
② //（引数はReportsConnectのアプリIDと帳票レコード名）
  waitLoaded(function(){
    kpsrc.setupReport(17, “初めに一覧");
  });
③ //一覧表示時に、印刷ボタンが無ければ追加する
  kintone.events.on('app.record.index.show', function(event) {
    var btid = "printbt";
    if(document.getElementById(btid)==null){
      var sp = kintone.app.getHeaderMenuSpaceElement();
      var bt = document.createElement('input');
      bt.type = "button";
      bt.value = "印刷";
      bt.onclick = goPrint;
      bt.id = btid;
      sp.appendChild(bt);
    }
  });
④ //印刷ボタン押下時の処理。
  function goPrint() {
    kpsrc.rcparms.kps_ql = kintone.app.getQueryCondition() + " order by 優先度";
    kpsrc.gorcprint();
  }
```

```
//※以下の関数はそのままコピーしてください。
  // http ヘッダに要素を追加します
  function load(src) {
    var head = document.getElementsByTagName('head')[0];
    var script = document.createElement('script');
    script.type = 'text/javascript';
    script.src = src;
    head.appendChild(script);
  }
  // ReportsConnect がロードされるまで待ちます
  var timeout = 10 * 1000; // ms
  var interval = 100; // ms
  function waitLoaded(callback,parm) {
    setTimeout(function() {
      timeout -= interval;
      if (typeof kpsrc !== 'undefined') {
        callback(parm);
      } else if (timeout > 0) {
        waitLoaded(callback,parm);
      } else {
        // abort
      }
    }, interval);
  }

})();
```


Copyright © 2012 KPS CORPORATION. All Rights Reserved.

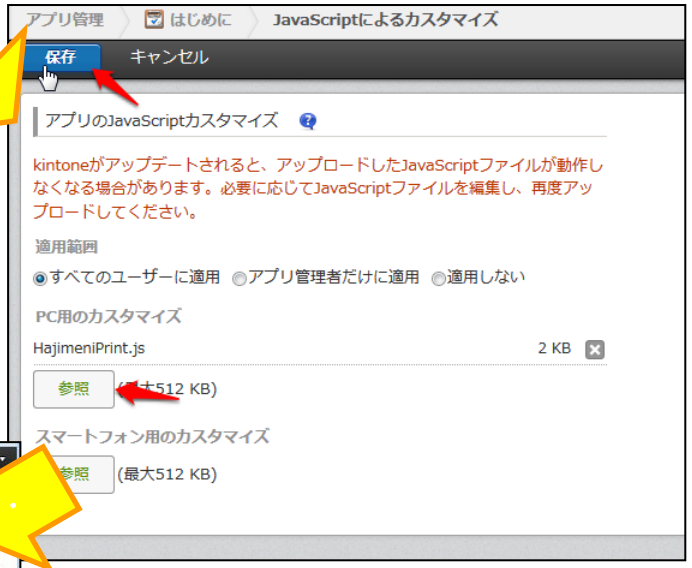
3．操作説明　～アプリケーションへの実装～

3－1　JavaScriptを使った印刷ボタンの実装（続き）

作成したJavaScriptをアプリケーションに実装する手順です。
① ボタンを実装したいアプリの管理画面から「JavaScriptによるカスタマイズ」を選択します。
② 参照ボタンからJavaScriptを記述したファイルを指定し、「保存」ボタンを押します。

①

②



Copyright © 2012 KPS CORPORATION. All Rights Reserved.

3．操作説明　～アプリケーションへの実装～

3－1　JavaScriptを使った印刷ボタンの実装（補足）

パラメータについて

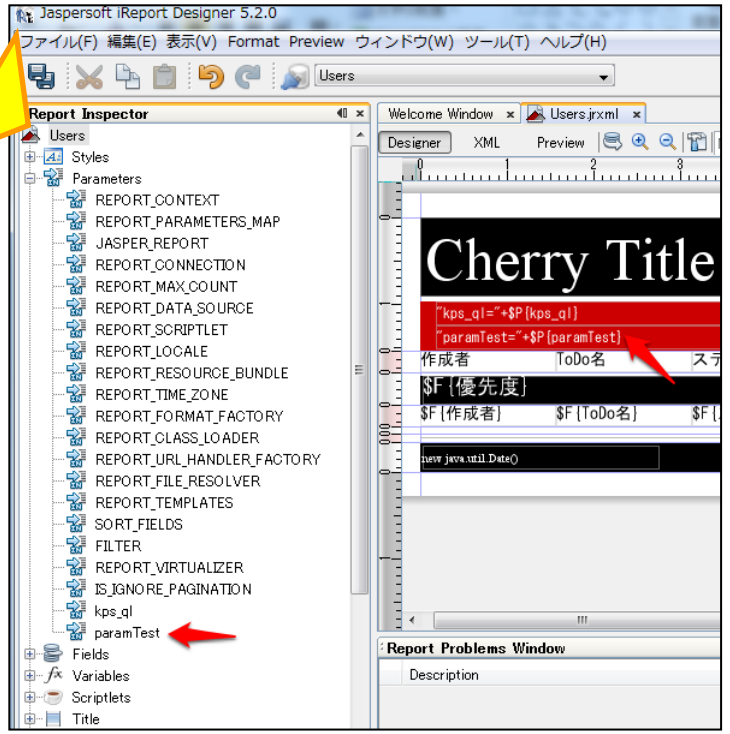
kpsrc.rcparmsでは、帳票レコードの設定を変更するパラメータ以外にも、独自にパラメータを作成することが可能です。
kpsrc.rcparmsで設定したパラメータは全て帳票側で取得することが出来ます。

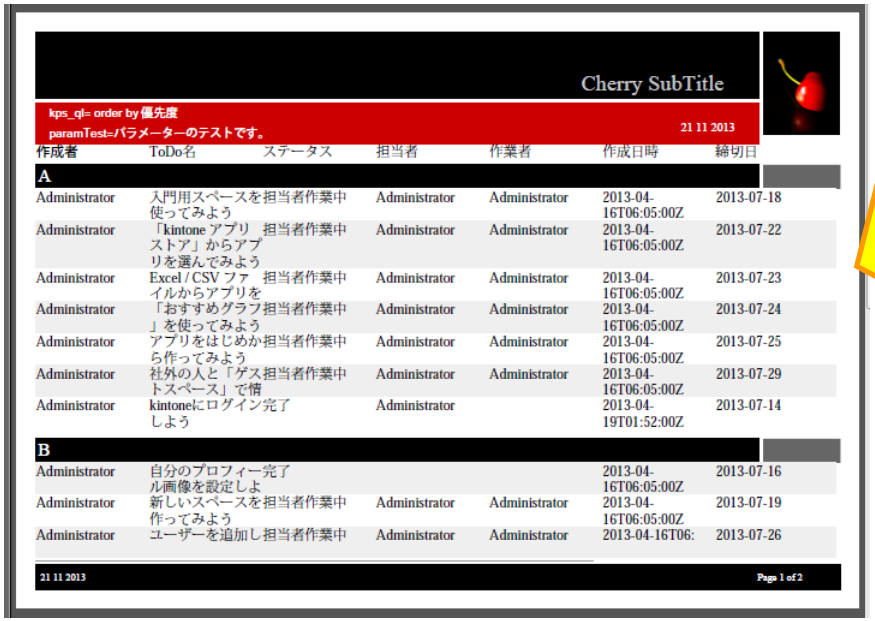
① kpsrc.rcparamsに任意の名称でパラメータを作成し、値を設定します。
② JasperSoftStudioで 「Parameters」を右クリック>「Create Parameter」から同名のパラメータを作成します。
作成したパラメータは帳票上への出力も可能です。

①

```
//印刷ボタン押下時の処理。
  function goPrint() {
    kpsrc.rcparms.kps_ql = kintone.app.getQueryCondition() + " order by 優先度";
    kpsrc.rcparms. paramTest =  "パラメーターのテストです。";
    kpsrc.gorcprint();
  }
```

②





Copyright © 2012 KPS CORPORATION. All Rights Reserved.

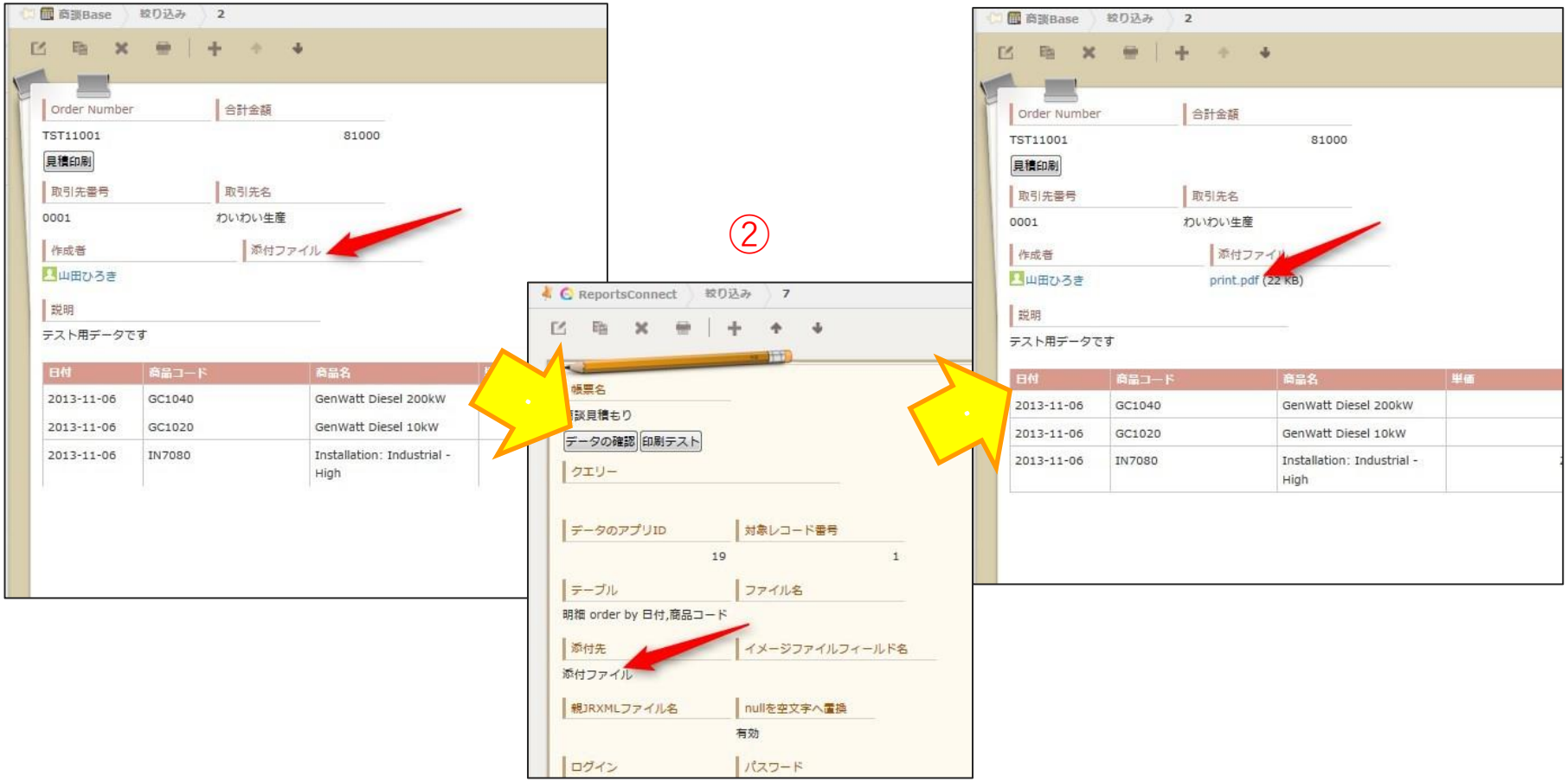
3．操作説明　～アプリケーションへの実装～

3－2　帳票PDFをレコードに添付する

印刷実行時に帳票PDFをダウンロードする形式の他、帳票PDFを任意のレコードに添付することが出来ます。

読み込んだレコードに直接添付する方法です。
① 添付用のフィールドが必要なため、対象のアプリケーションに添付ファイル型のフィールドを作成します。
② 帳票レコードの添付先欄に①で作成したフィールドのフィールドコードを入力します。

①



Copyright © 2012 KPS CORPORATION. All Rights Reserved.

3．操作説明　～アプリケーションへの実装～

3－2　帳票PDFをレコードに添付する（続き）

一覧画面での印刷時等、添付先のレコードが特定出来ないケースでも任意のレコードに添付することが可能です。
その場合、帳票レコードの添付先欄に“アプリID;レコードID;フィールドコード”の形式で入力します。
アプリIDを省略した場合、現在のアプリIDが使用されます。
APIトークンによる認証を行う場合でレコードを添付するアプリが現在のアプリと異なる場合は“アプリID;レコードID;フィールドコード;添付するアプリのAPIトークン”の形式で入力します。（APIトークンに「レコード編集」のアクセス権が必要）

「添付先」欄への入力形式	動作説明	使用例
フィールドコード	表示中レコードの指定フィールドに添付されます。	レコードの表示画面に印刷機能を実装している時など
;レコードID;フィールドコード	印刷を組み込んでいるアプリ内の指定レコードの指定フィールドに添付されます。	一覧画面に印刷機能を実装している時など
アプリID;レコードID;フィールドコード	指定アプリ内の指定レコードの指定フィールドに添付されます。	別アプリのレコードにファイルを保持していたい時など
アプリID;レコードID;フィールドコード;添付するアプリのAPIトークン	指定アプリ内の指定レコードの指定フィールドに添付されます。	APIトークンによる認証を行う場合で、別アプリのレコードにファイルを保持していたい時

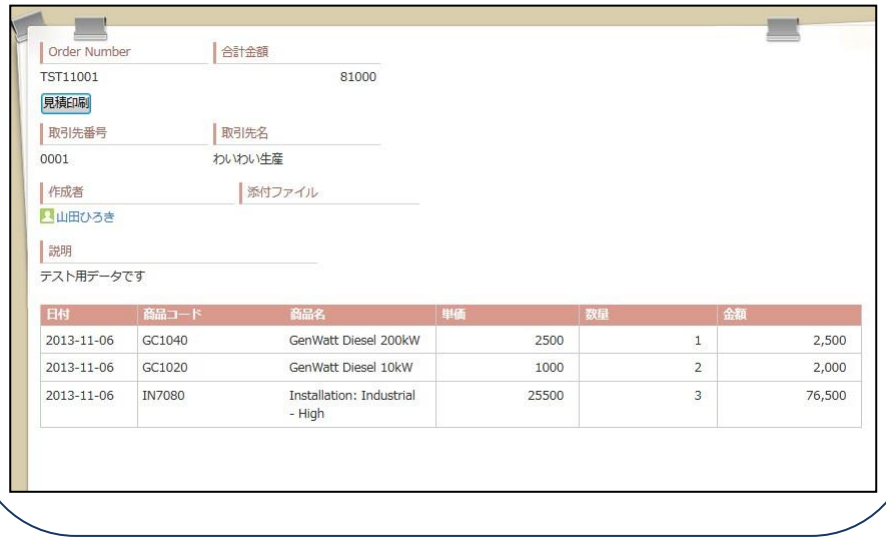
Copyright © 2012 KPS CORPORATION. All Rights Reserved.

3．操作説明　～アプリケーションへの実装～

3－3　テーブルの印刷

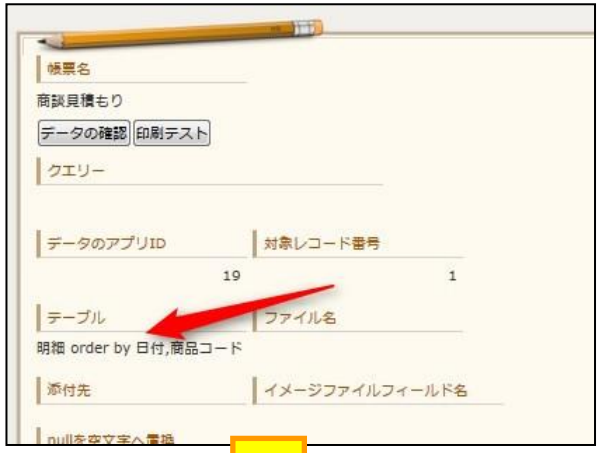
テーブル形式のデータを含むレコードを印刷する方法です。
① 帳票レコードのテーブル欄に対象テーブルのフィールドコードを入力します。
② テーブルに登録された行数と同じ数のデータが出力されます。メインのデータは結合された形になります。

印刷対象



日付	商品コード	商品名	単価	数量	金額
2013-11-06	GC1040	GenWatt Diesel 200kW	2500	1	2,500
2013-11-06	GC1020	GenWatt Diesel 10kW	1000	2	2,000
2013-11-06	IN7080	Installation: Industrial - High	25500	3	76,500

①



②

	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M	N
1	金額	日付	商品コード	商品名	単価	数量	更新日時	合計金額	作成者	ユーザー選	OrderNumb	作成日時	更新者	取引先番号
2	2000	2013/11/6	GC1020	GenWatt D	1000	2	2013-11-1	81000	管理者	管理者	TST11001	2013-11-0	管理者	1
3	2500	2013/11/6	GC1040	GenWatt D	2500	1	2013-11-1	81000	管理者	管理者	TST11001	2013-11-0	管理者	1
4	76500	2013/11/6	IN7080	Installation	25500	3	2013-11-1	81000	管理者	管理者	TST11001	2013-11-0	管理者	1
5														
6														
7														

Copyright © 2012 KPS CORPORATION. All Rights Reserved.

4．操作説明　～ライセンス管理～

4－1　ライセンス管理のインストール

ライセンス画面より、有料ライセンスのユーザーへの割り当てを行うことが出来ます。
（※事前に有料ライセンスをお申し込みいただく必要があります。）
① ReportsConnect公式サイト内の資料にある有料版資料から「ライセンス管理」をクリックします。
② 1－3　インストール方法②～⑥を参考にしながらReportsConnectライセンス管理（ライセンス管理の中にReportsConnect 所有ライセンスも含まれています）をインストールし、アプリに追加されていることを確認します。

①

②

Copyright © 2012 KPS CORPORATION. All Rights Reserved.

4－2　ライセンス管理画面の初期設定

① 事前に「ReportsConnect所有ライセンス」アプリのIDを確認します。
② 「ReportsConnectライセンス管理」アプリの設定画面から「JavaScriptによるカスタマイズ」を選択します。

①

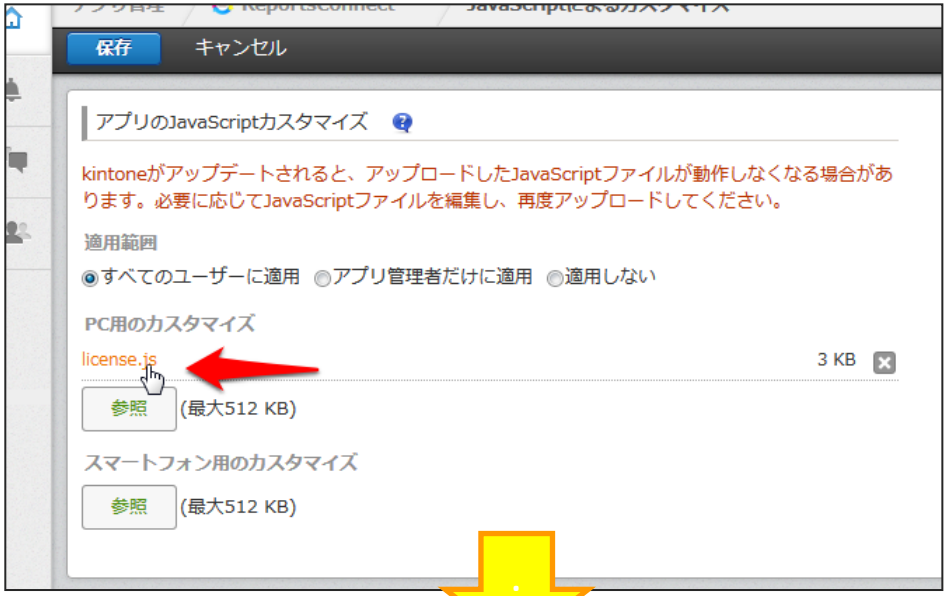
②

Copyright © 2012 KPS CORPORATION. All Rights Reserved.

4－2　ライセンス管理画面の初期設定（続き）

③　license.jsをお使いの端末にダウンロードして下さい。
④　ダウンロードしたファイルをメモ帳等で開き、設定パラメータを変更して下さい。

③



④

・**rc_local_login**
ライセンス管理を行うユーザーのログイン名
・**rc_localpad**
ライセンス管理を行うユーザーのパスワード
・**rc_local_dataappid**
Reports Connect 所有ライセンスアプリのID

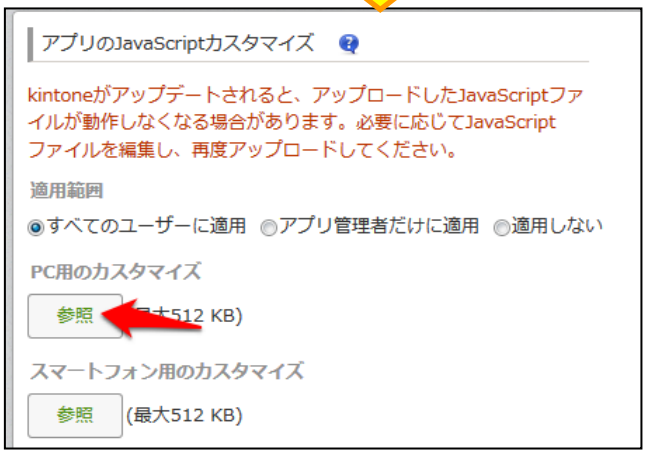
Copyright © 2012 KPS CORPORATION. All Rights Reserved.

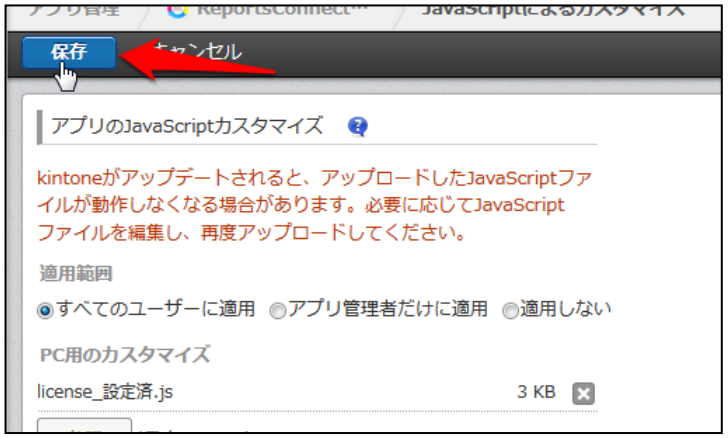
4－2　ライセンス管理画面の初期設定（続き）

⑤　既存のlicense.jsを削除します。
⑥　④で修正したlicense.jsをアップロードし、保存ボタンを押して下さい。

⑤

⑥





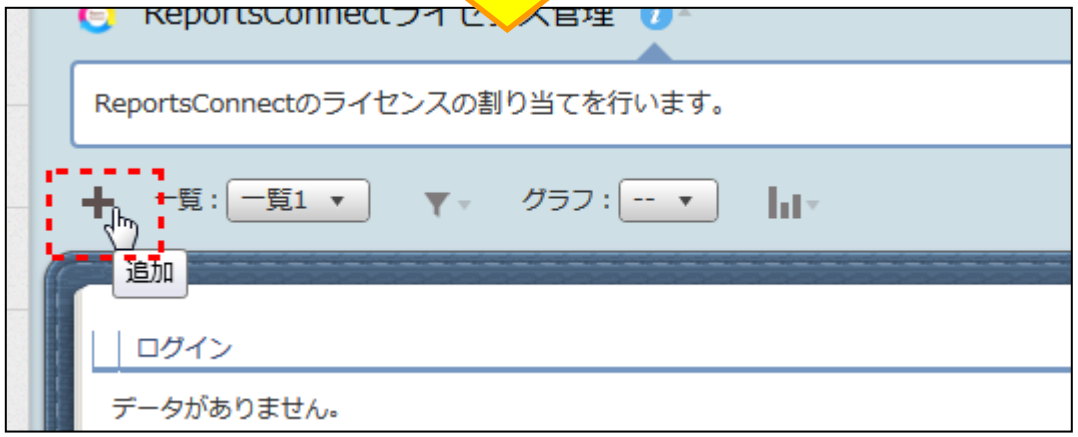
Copyright © 2012 KPS CORPORATION. All Rights Reserved.

4－3　ユーザーにライセンスを割り当てる

各ユーザーのライセンスは管理画面から随時変更が可能です。
①　「ReportsConnect」アプリを開きます。
②　「＋」ボタンを押して、レコードを1件作成します。

①

②



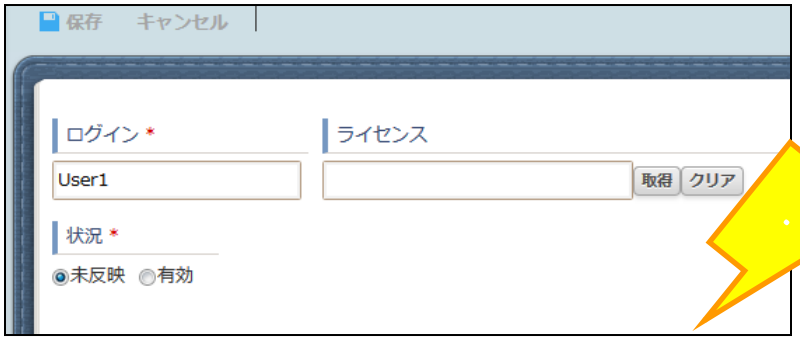
Copyright © 2012 KPS CORPORATION. All Rights Reserved.

4．操作説明　～ライセンス管理～

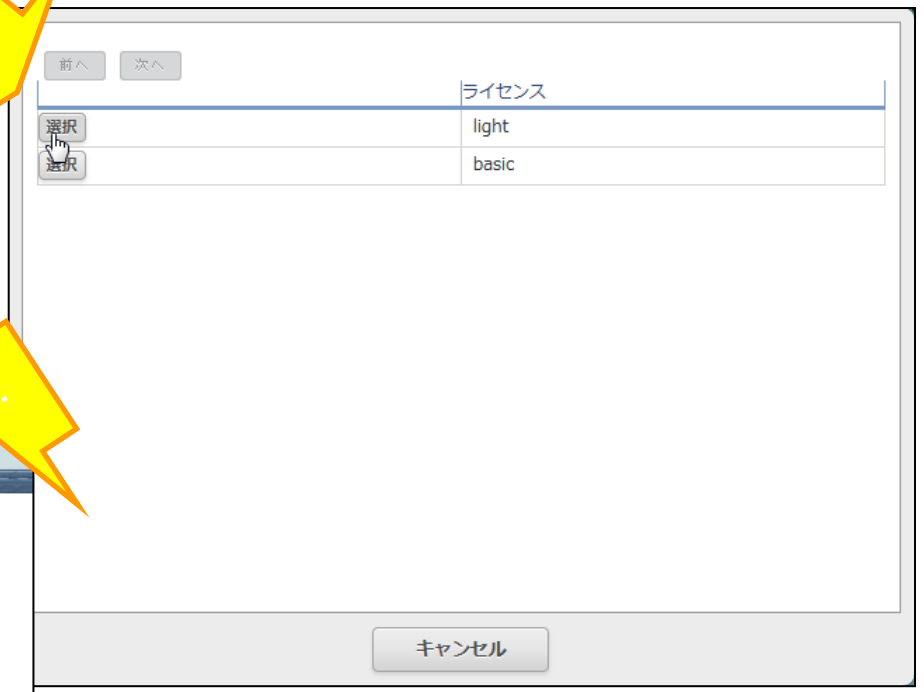
4－3　ユーザーにライセンスを割り当てる（続き）

③　ログイン欄にライセンスを割り当てるユーザーのログイン名を入力後、ライセンス欄の「取得」ボタンを押します。
④　保有ライセンス一覧から、割り当てるライセンス選択します。
⑤　「保存」を押します。

③



④



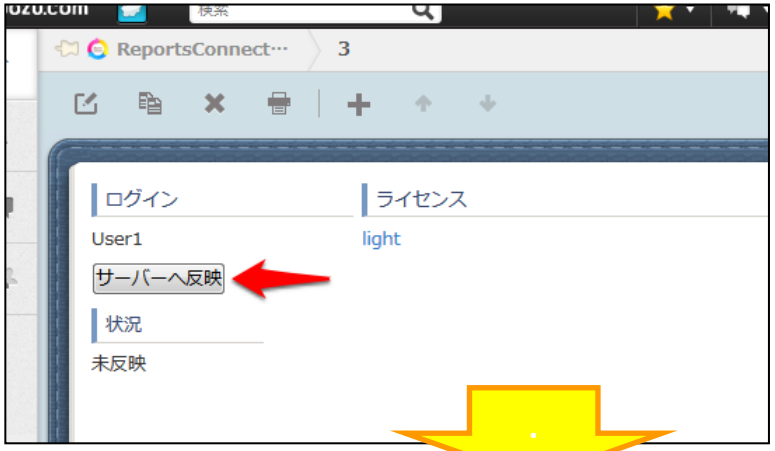
⑤

Copyright © 2012 KPS CORPORATION. All Rights Reserved.

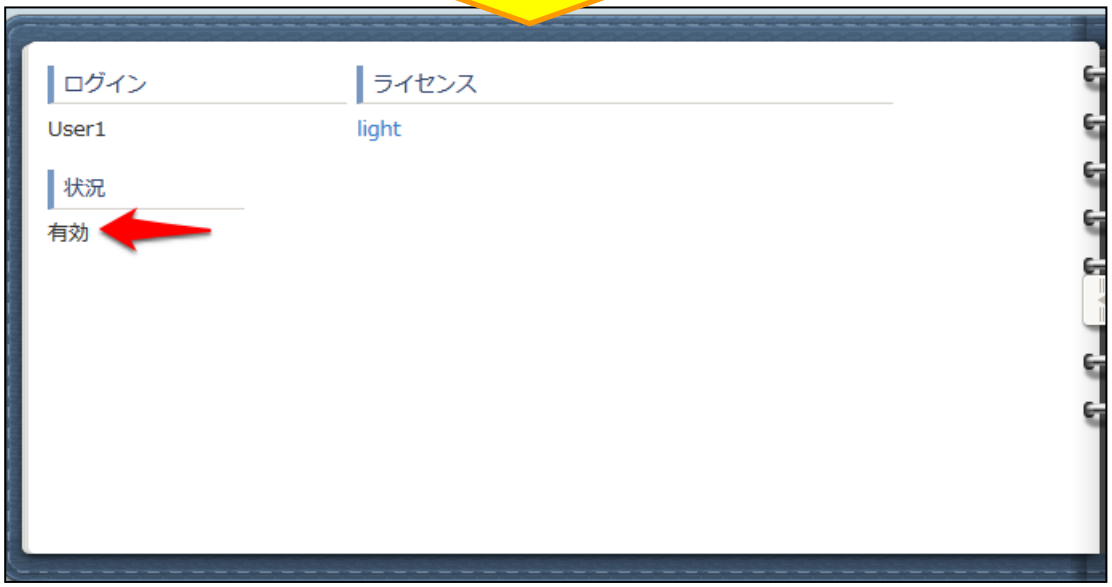
4－3　ユーザーにライセンスを割り当てる（続き）

⑥　「サーバーへ反映」ボタンを押します。
⑦　状況欄が[有効]に変更された事を確認します。

⑥



⑦

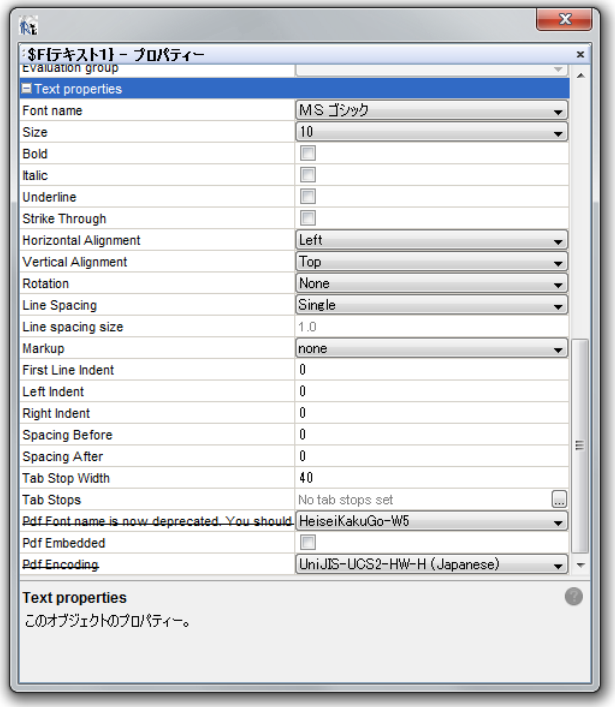


Copyright © 2012 KPS CORPORATION. All Rights Reserved.

5－1　帳票に日本語が出力できないときは

JasperSoftStudio上で日本語用フォントの設定を行う必要があります。
日本語を出力するフィールドのプロパティを、下記の通りに設定して下さい。

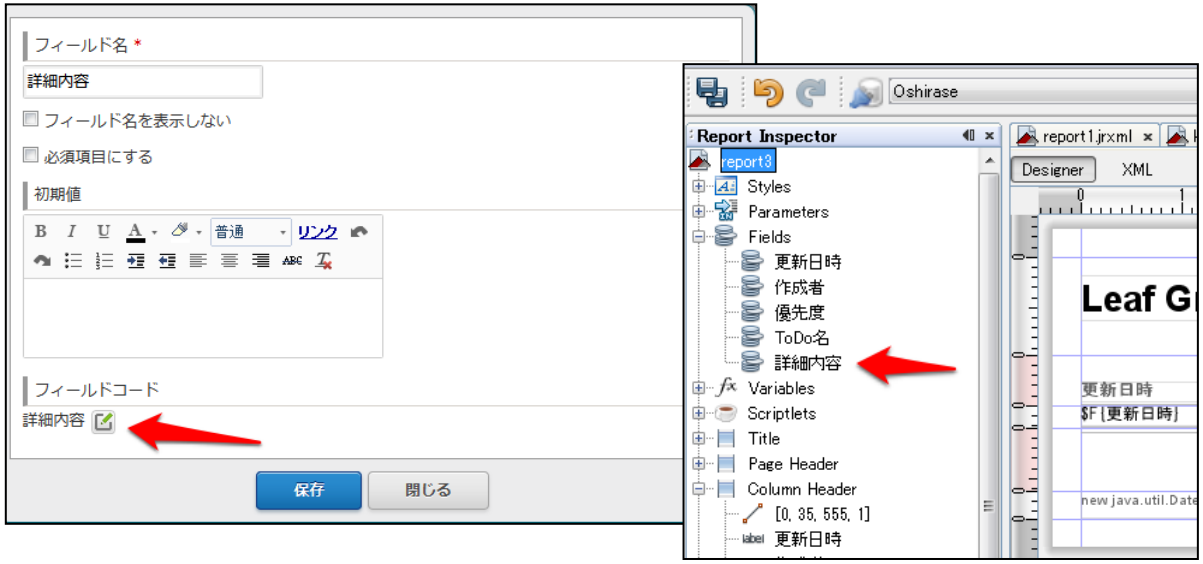
Font name : 任意の日本語フォント（プレビュー等で使用されるフォント）
PDF Font name : [HeiseiKakuGo-W5]または[HeiseiMin-W3]（出力されるpdfで使用されるフォント）
※太字にする場合：[HeiseiKakuGo-W5,Bold]または[HeiseiMin-W3,Bold]
※斜字にする場合：[HeiseiKakuGo-W5, Italic]または[HeiseiMin-W3, Italic]
※太字かつ斜字にする場合：[HeiseiKakuGo-W5, BoldItalic]または[HeiseiMin-W3, BoldItalic]
PDF Encoding : [UniJIS-UCS2-H (Japanese)]または[UniJIS-UCS2-V (Japanese)]

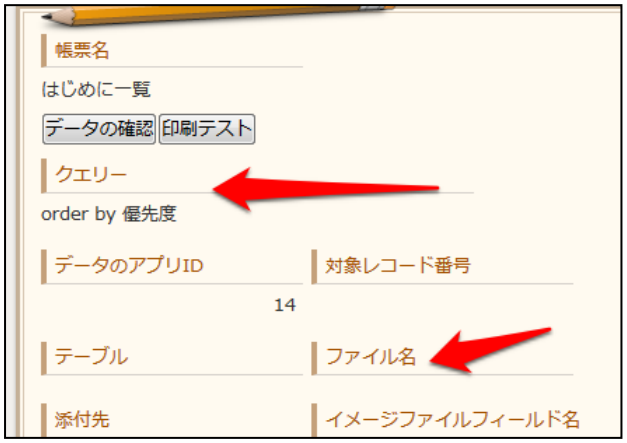


Copyright © 2012 KPS CORPORATION. All Rights Reserved.

5－2　フィールドにデータが表示されないときは

- 帳票デザイン上のフィールド名とアプリ上のフィールドコードが一致している事をご確認下さい。
- クエリー、対象レコード番号が正しく設定されている事をご確認下さい。

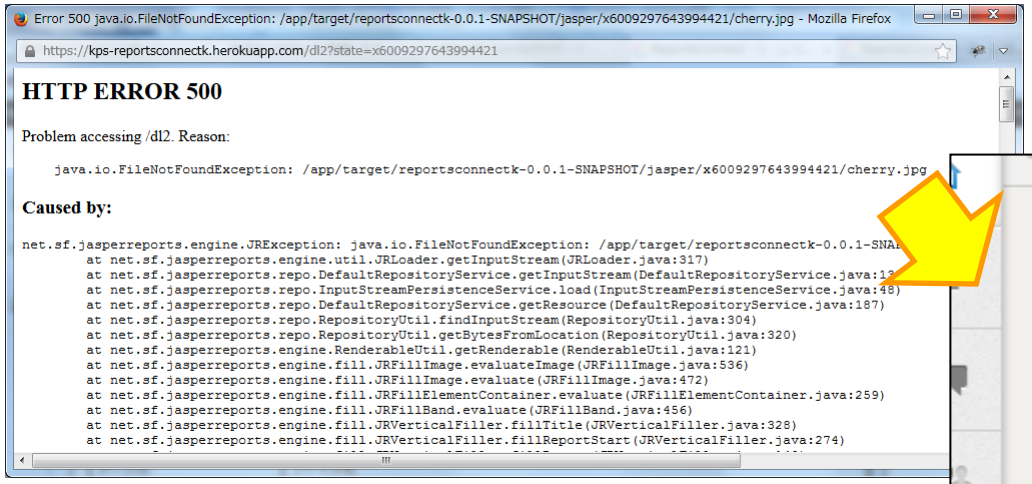


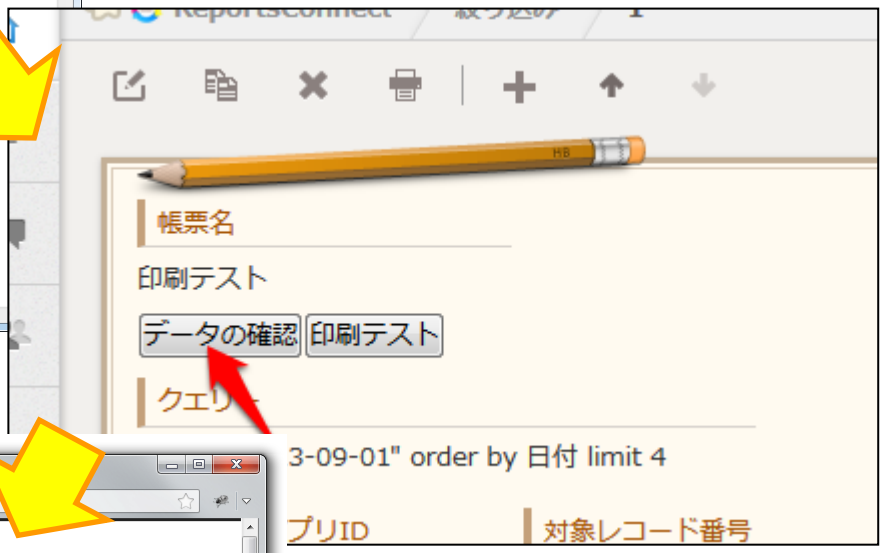


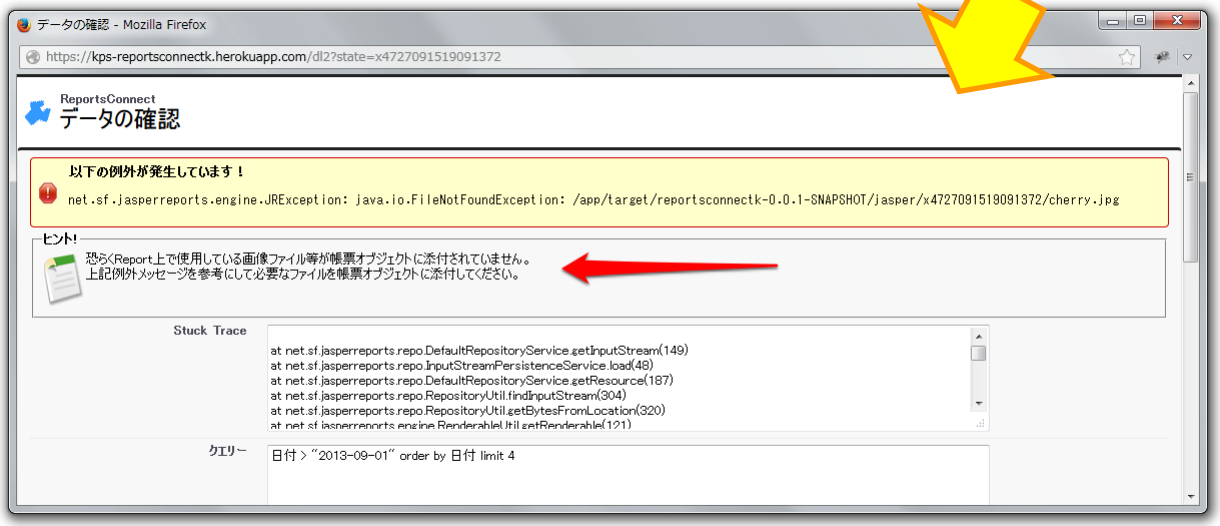
Copyright © 2012 KPS CORPORATION. All Rights Reserved.

5－3　帳票テスト時にエラーが発生したら

テスト時に例外が発生した場合、帳票画面の「データの確認」ボタンを押すことで、問題解決のヒントが表示されます。







Copyright © 2012 KPS CORPORATION. All Rights Reserved.

6．お問い合わせ

Reports Connectに関するご質問

ReportsConnectのサポートフォーラムをご利用ください。

URL：https://forum.reportsconnect.com/

その他のお問い合わせ

資料請求・お問い合わせはこちらから(平日10 時～ 17 時　担当：西坂)

TEL：　03-3360-6113

FAX：　03-3360-3351

Mail：　force1@mail.kpscorp.jp

技術支援

㈱ケーピーエスではForce.comに関する技術支援もおこなっております。

URL：http://techsupport.kpscorp.jp

Copyright © 2012 KPS CORPORATION. All Rights Reserved.